

この日本語版は、投資家様への便宜を図る目的で、正文の英語版より和訳したものです。 適宜、英語版をご参照ください。

2025年9月

アフリカ開発銀行グループ 変化をもたらす 投資家様向けプレゼンテーション

目次

▶ アフリカ開発銀行グループの概要	
▶ アフリカ開発銀行の財務状況	25
▶ 資本市場における取組み	36
▶ 参考資料	47
財務諸表	48
サステナブルボンド枠組み	50
アフリカ経済見通し	58
よくあるご質問	62



アフリカ開発銀行グループの概要



アフリカを代表する開発金融機関

AfDBグループ: 共通の目標を掲げ、法的かつ財政的に独立した3つの機関で構成



アフリカ開発銀行(AfDB)

- 1964年設立
- 81の加盟国
- 授権資本: 3,300億米ドル
- 資本市場から資金を調達
- バーゼル II に基づくリスクウェイト0%
- バーゼルⅢに基づくレベル1



アフリカ開発基金 (ADF)

- 1972年設立、譲許的融資を行う機関
- ・ 域外加盟国29ヵ国(含アンゴラ)と域内加盟国 5ヵ国(アルジェリア、ボッワナ、エジプト、モロッコ、南 アフリカ)が出資
- 引受額:約500億米ドル
- 低所得国が対象
- 3年ごとに資金増強



ナイジェリア信託基金 (NTF)

- ・ ナイジェリアにより1976年に設立
- 低所得国が対象
- 2028年まで存続
- 資金総額: 2億4,200万米ドル

ガバナンスと監督

総務会

- 最高意思決定機関
- AfDB加盟国の財務大臣および国際協力大臣で構成

理事会

- ・ 総務会が選出する20名の常任理事で構成(アビジャンに常駐)
- アフリカ開発銀行の一般業務を監督

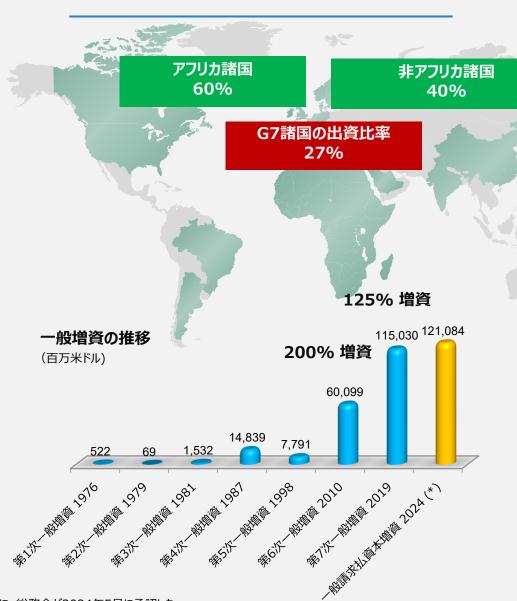
総務会、理事会のいずれの決議も、3分の2の多数、または、加盟国が要請する場合は70%の多数が必要

アフリカにおける貧困削減と生活環境改善に注力

N-50007 Broom BEE-3 F-9800464 Bibble N-2-

アフリカの開発のため、60年にわたるパートナーシップ

	アフ	ሀ 	
ナイジェリア	8.962%	ナミビア	0.338%
エジプト	6.212%	マラウィ	0.320%
アルジェリア	5.159%	南スーダン	0.306%
南アフリカ	4.981%	ブルンジ	0.216%
モロツコ	4.643%	ニジェール	0.208%
コートジボワール	3.821%	ベナン	0.208%
ガーナ	2.161%	リベリア	0.186%
リビア	2.130%	マリ	0.174%
ジンバブエ	1.715%	トーゴ	0.164%
コンゴ民	1.611%	ルワンダ	0.135%
エチオピア	1.535%	ガンビア	0.124%
チュニジア	1.427%	エスワティニ	0.111%
ケニア	1.265%	シエラレオネ	0.106%
ザンビア	1.170%	スーダン	0.094%
アンゴラ	1.033%	レソト	0.090%
セネガル	0.964%	赤道ギニア	0.064%
カメルーン	0.963%	サントメプリンシペ	0.062%
タンザニア	0.825%	チャド	0.059%
ボツワナ	0.761%	カーボベルデ	0.056%
マダガスカル	0.647%	モーリタニア	0.053%
モーリシャス	0.637%	中央アフリカ	0.034%
モザンビーク	0.578%	エリトリア	0.031%
ガボン	0.440%	ソマリア	0.029%
ブルキナファソ	0.407%	セーシェル	0.022%
ウガンダ	0.387%	ジブチ	0.008%
ギニア	0.381%	⊐ ∓ □	0.007%
コンゴ共	0.357%	ギニアビサウ	0.007%



欧州	
ドイツ	3.997%
フランス	3.600%
イタリア	2.327%
英国	1.787%
スウェーデン	1.507%
スイス	1.406%
ノルウェー	1.130%
デンマーク	1.123%
スペイン	1.016%
オランダ	0.846%
アイルランド	0.788%
ベルギー	0.615%
フィンランド	0.469%
オーストリア	0.428%
ポルトガル	0.231%
ルクセンブルク	0.199%

中東	
クウェート	0.428%
トルコ	0.380%
サウジアラビア	0.186%

米州		アジア	
米国	6.352%	日本	5.279%
カナダ	3.691%	中国	1.236%
ブラジル	0.143%	韓国	0.461%
アルゼンチン	0.076%	インド	0.276%

注:各国のデータはAfDBへの出資比率を表す。

(2025年6月30日時点)

^(*) AfDBの融資能力を維持し、格付け機関フィッチの要件を満たすために、総務会が2024年5月に承認した一般請求払資本増資。

ニーズに応じた効果的なパートナー

AfDBソブリン事業

AfDBの融資適格となる中所得国17ヵ国

基準:

- 1人当たりGNI (国民総所得)
- 国の信用力

AfDB・ADFの両方の融資に適格

9力国

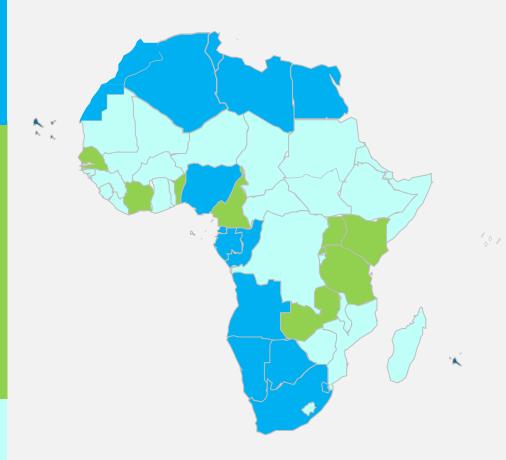
ブレンド国6カ国: カメルーン、コートジボワール、ケニア、セネガル、タンザニア、 ザンビア

改訂された2014年信用ポリシーによって AfDBの資金源にアクセスできる**ADF加盟 国3カ国**:ベナン、ルワンダ、ウガンダ

ADF譲許的融資

ADFのみの融資・無償資金供与の適格となる低所得国28カ国

健全なマクロ経済状況と持続可能な債務プロファイル を有する国々に対する選択的な金融サービスの提供



民間セクター事業

付加価値と開発成果が見込まれる有望企業や多国籍プロジェクト

- 直接融資
- ・ クレジットライン
- 資本参加
- **保証**

付加価値及び開発成果の評価:主要指標

- GDP成長率(%)
- 一人当たりGDP(2010年米ドル基準)*
- アフリカのガバナンスに関するモ・イブラヒム指標**
- 税収及び税外収入
- ジェンダー格差指標
- 生産効率
- 水関連ショックに対する強靭性(指標)
- 難民及び国内避難民の人数

エンクレーブ融資

ADFの譲許的融資のみに適格な諸国で実施される自律的で輸出志向型のプロジェクトに対する融資

*米ドル建てGDPの数値は2010年基準で自国通貨から換算。データは2010年価格で表示。1990年、2000年及びその他の年は2010年価格で表示。

**各国のガバナンスのパフォーマンスの統計的評価。

ニーズに応じた効果的なパートナー

アフリカの開発アジェンダの中心にあるHigh 5s





ハイファイブズ(High 5s)は、 アフリカが国連のSDGsの90% 近くを達成することに寄与し、また、 アフリカ連合(AU)のアジェンダ 2063と本質的にリンクしている

包摂的(インクルーシブ)なグリーン成長を加速させ、豊かで強靱な経済を推進 するために、AfDBの10カ年戦略を遂行

オペレーションを通じアフリカの未来へ投資

AfDBグループの融資承認額と支払済額



適切な投資と政策により、アフリカにおけるSDGs目標は達成可能

очного в вовичения выпольных выста выпольных вы

私たちが望むアフリカを実現するためのさらなる貢献

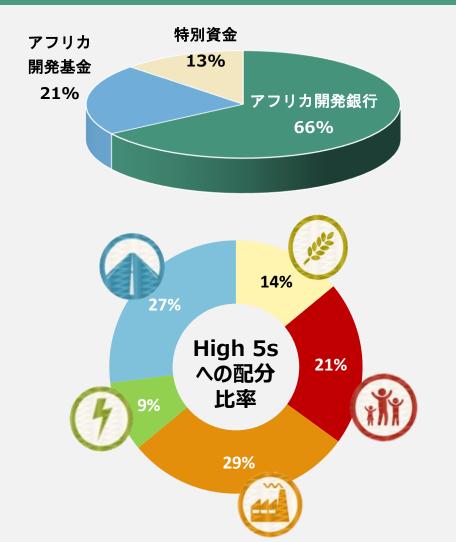
AfDBグループの640億米ドルのポートフォリオのセクター別分布



(2024年12月31日時点)

注:「その他」には、工業、通信、環境、都市開発が含まれる

組織全体で貢献 - 2024年の承認額



in-places in man with year programme destroyed.

全ての人のためのエネルギーで包摂的(インクルーシブ)な成長を促進

エネルギーは人間の 生活に必要不可欠

アフリカ大陸に必要な、 信頼でき、手の届く価格の、 環境に優しい(グリーンな) エネルギーへの ユニバーサル・アクセス

アフリカ大陸全体で電力が大幅に不足

アフリカのエネルギ ー使用は世界で 最少

- 2022年には58%の家庭が電力にアクセス(2018年は54%)
- 10億人近くがクリーン調理へのアクセスがない
- 世界で最も電化率の低い国のうち20カ国がアフリカ
- 2022年の1人あたり年間エネルギー消費量は200kWh(米国では 12,700kWh、ヨーロッパでは6,500kWh)

電力需要は 2030年までに3 倍になると推計

- 6億人が電気を利用できない
- 停電により、年間GDPの0.2-4%が喪失
- 90%の小学校で電力不足
- 病院・救急サービスへの障害

よりクリーンで、二酸化炭素排出の少ないエネルギーへの強い需要

世界の太陽光発 電ポテンシャルの 60%以上がアフ リカに 豊富な再生可能エネルギーの 潜在力

- 太陽光10TW
- 水力発電350GW
- 風力110GW
- 地熱15GW (現在の設備容量46GW)

再生可能エネルギーに年間700億米ドルのインフラ投資が必要

革新的技術とファイナンス の什組みが必要 6-30557 B 000 614-3 7-38351642858\$45545.

電力グリッドを連結しアクセスを拡大



AfDBの投資優先事項

- 電気やクリーン調理ソリューション、国民および生産部門向けのサービスなど、安価で信頼できる近代的エネルギーへのユニバーサル・アクセスをアフリカ諸国で加速させる。
- 社会的、経済的、環境的に持続可能なエネル ギー・セクターを開発する。
- 低炭素開発の道筋を確立し、グリーン成長を推 進すると同時にエネルギー安全保障を強化する。
- 電力セクターと公益事業の持続可能性を強化し、 エネルギー効率を向上させる。
- 相互接続された大陸電力網の開発を支える強固 な地域内および地域間の電力システムを構築する ことで、既存の電力プールを連結し、アフリカ単一 電力市場の設立を促進する。

2024年に完了したプロジェクトの開発インパクト

- 45万人に新たに電力を供給
- 2,300kmの越境および国内送電線
- 1,000MWの新規電力容量が導入

アクセスを改善するための国内電力網の強化

エジプト - 1.1GWのスエズ風力発電プロジェクト

プロジェクト総額:11億米ドル / AfDB融資額:1億7,000万米ドル

承認:2024

エジプトにおける1.1GWのグリーンフィールド風力発電所とそれに関連する中・ 高電圧昇圧変電所の設計、建設、運転、保守。建設後は、エジプト最大の 独立系風力発電事業者として国内の再生可能エネルギーの導入を後押しす る。

期待される開発効果:

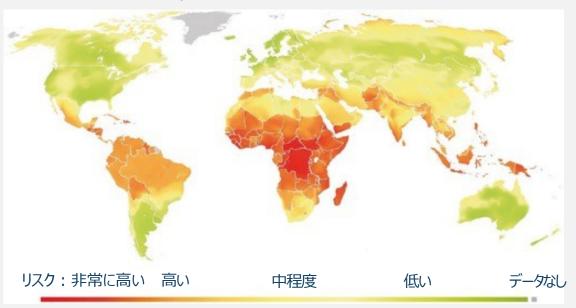
- 1.1GWの電力容量が導入
- 年間4,111GWhの再生可能エネルギー発電
- 年間171万トンのCO₂排出量が削減
- 100万世帯以上がクリーンで信頼できる安価なエネルギーの利用が可能に
- 1,740人の雇用創出

アフリカの気候変動アジェンダ

2030年までにパリ協定に基づく気候変動対策への国家コミットメントを達成するために、アフリカは約2兆8,000億米ドルの気候変動ファイナンスが必要

気候変動リスクは最も貧しく 脆弱なコミュニティを脅かす

- 海面上昇、干ばつ・洪水の増加
- 農業の生産性、食料の安定供給の妨害
- 水・エネルギー安全保障への脅威
- → 貧困状況の悪化
- ソブリン格付への影響



出所: Climate Change Vulnerability Index 2017 - Verisk Maplecroft

世界で最も脆弱 な10カ国のうち 9カ国がアフリカ アフリカの温室効果 ガス排出量は世界 全体の4%未満 世界の気候変動 関連ファイナンス のうちアフリカ向け は3%未満

成長・開発に向けた計画により、気候変動への強靭性を構築

アフリカを異常気象から守る

- 効果的な早期警戒警報の予測・ 発出能力の向上
- 増加する気象上の脅威に対処す るための技術革新の促進
- がバナンス、効果的な政策と制度 の強化
- 世界の気候変動関連ファイナンスの結集

気候変動にスマートに対応する開発へのファイナンス

2024年のAfDBの事業の98%で気候変動が主流

2024年の気候変動ファイナンス 55億米ドル= 全AfDB承認額の49% 56% 44% 24億 緩和策 適応策

国が決定する貢献(NDC: Nationally Determined Contributions)を実行する ためにアフリカは約2兆8,000億米ドルが必要

アフリカ適応加速プログラム (AAAP)

- グローバル適応センター(GCA: Global Center on Adaptation) とのパートナーシップ
- 2025年までにアフリカの適応を支援するため、250億米ドルの拠出をコミット
- 累計195億米ドルを動員するなど、大きな進展
- AfDBはGCAのアフリカ事務所を開設

アフリカNDCハブー技術支援を提供し、NDC 目標を達成するためのパートナーシップ・プラットフォーム

- アフリカ54カ国がパリ協定を批准し、49カ国がNDCsを更新、9カ国が長期的な低炭素・気候変動対応戦略(LTS)を提出
- ガボン、リベリア、レソト、ボッワナ、モザンビーク、ウガンダにおけるLTSの継続支援
- ブルキナファソ、エチオピア、ザンビアにおける NDCの実行支援









- ADF気候アクションウィンドウ(CAW)は、アフリカの低所得37カ国で気候変動対策を拡大するために40億~130億米ドルの動員を目指している。
- 2024年には**4億4,200万米ドル、80件 の適応プロジェクト**が進行中。

サヘル地域における太陽光の活用



「砂漠に電力(Desert to Power: DtP)イニシアティブ」 - 経済的、社会的、環境的に脆弱なサヘル地域を変革し強靭性をもたらす

新しい方法

- 革新的なブレンド・ファイナンス・ パッケージ
- 金融・専門機関、ディベロッパー、 政治イニシアティブとの協力
- 新技術の活用





チャド - ガッシとラマジの太陽光発電DtP

プロジェクト総額:4,110万ユーロ / ADF融資額:1,350万ユーロ

承認:2024

ラマジ変電所とガッシ変電所の近くで、発電容量15MWpの太陽光 発電所2カ所(合計30MWp)の設計、建設、運転を行うプロジェクト。2カ所の発電所は、61GWhのクリーンで信頼性の高い電力を発電し、年間4万9,000トンのCO₂排出量を削減する。

協調融資機関





環境に優しい電 力へのアクセスを 拡大

再生可能エネ ルギーへ民間 セクターを誘致

移住を減少し、 紛争を予防 貧困削減、食料安全保障の向上

農業及びその他 経済活動の促進 女性参画・雇用 を強化

2024-2025年に承認された「砂漠に電力」プロジェクト

エリトリア

12MWのミニグリッドプロジェクト - テセネイ・

ケレケベトおよびバレンツ

チャド

ガッシとラマジの太陽光発電DtP

ブルキナファソ デドゥグの18MWの太陽光発電

農業を開発の最前線へ



アフリカの課題は世界的な関心事項

人口

- ▶ アフリカの人口の20%が栄養不足
- ▶ 栄養不足によりアフリカのGDPの11%が損なわれている
- ▶ 5歳未満の子供の34%が発育阻害
- ▶ 2020-2022年に2,800万人が食料不安に直面

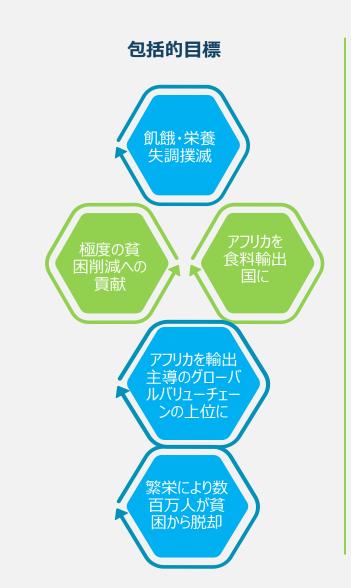
経済

- チョコレートは年間1,000億米ドル以上の収入を 生み出すが…
- ▶ …アフリカはその2%しか享受していない
- ▶ 世界において耕作可能であるが未開墾の土地の 60%がアフリカに存在
- ▶ 農業貿易は年間750億米ドルの赤字

環境

アフリカの農業の95%は天水農業であるため、干ばつの影響を受けやすい

天候のショックに より、GDPの2% が損なわれる





2024年に完了したプロジェクトの開発インパクト

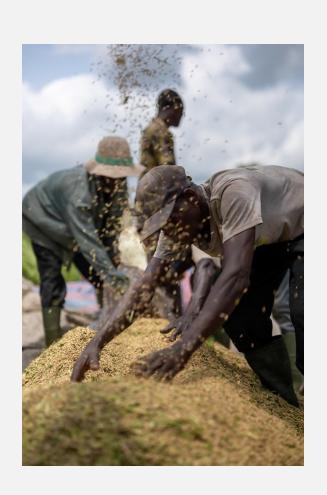
- 2,700万人が食料安全保障の改善による恩恵を享受
- ◆48万人の農民がマイクロ灌漑、肥料、気候変動に強い種子などの改良された投入物を使用
- 2,900件のアグリビジネス支援

農業バリューチェーンの上位へ



2024年の承認額:25億米ドル

アフリカの農業を、世界的に競争力があり、包摂的(インクルーシブ)かつビジネス志向のセクターに変革



タンザニア - より良い明日を築く: 若手アグリビジネス・イニシアティブ

プロジェクト総額:2億4,100万米ドル/AfDB融資額:1億3,000万米ドル

承認:2024

タンザニアの若者の雇用創出および食料・栄養安全保障の改善を目的としたプロジェクト。具体的には、優先的な農業バリューチェーンに沿って、若い男女のビジネス機会と適切な雇用の創出を目指す。

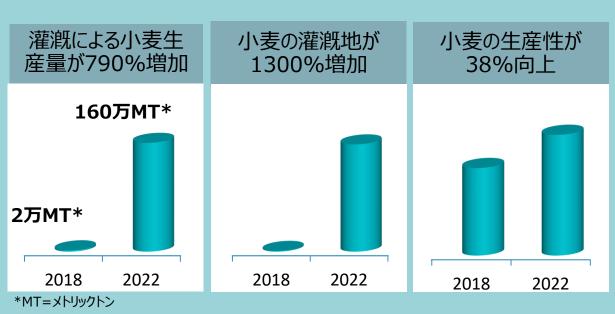
期待される開発効果:

- ▶ 若者が率いるアグリビジネス企業6,000社が設立
- ▶ 1万1,000人の若者が起業家精神とアグリビジネスのスキルを向上させ、改良された気候スマートな投入物を 採用し、金融へのアクセスを得る
- ▶ 15万人の雇用創出
- 新たに3万8,000ヘクタールの灌漑用地が開発
- ▶ 700kmの農道網が建設

エチオピアにおける小麦の成功例

小麦輸入国から小麦輸出国への転換

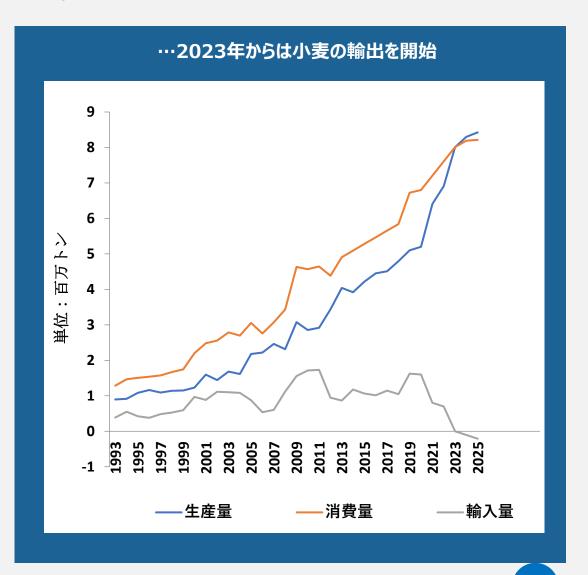
エチオピア、2022年に小麦自給自足を達成…





AfDBの「アフリカ農業転換技術(Technologies for African Agricultural Transformation (TAAT) 」プログラムは、保証種子を10万トン以上配布することで灌漑低地での小麦栽培面積を2018年の5,000ヘクタール未満から2022年の65万ヘクタール以

上へと大幅に拡大させ、エチオピアの成功に貢献。



アフリカの製造業は雇用創出の原動力





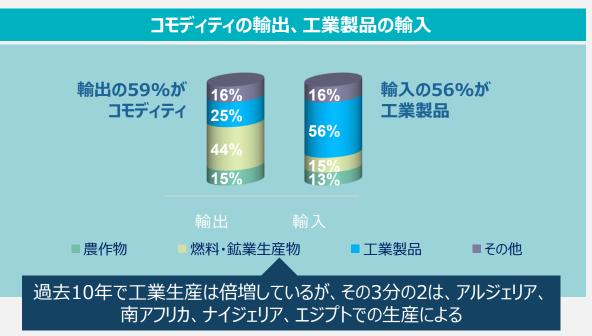


グローバルな 競争力を強化

*2019年時点

AfDBの優先分野と目標

- 特別加工区での農産物加工を開発
- 採掘資源の選鉱を支援
- アフリカのネットゼロ移行を支援
- 接続インフラ、デジタルおよびデータサービスに重点
- 医薬品・ワクチン製造セクターを支援
- 繊維セクターの開発



アフリカのグローバルな競争力は向上

若〈安価な労働力が増加し、 2050年には5 億人に

中産階級が急増 し2040年には消 費者が5億人に、 市場規模は 2.500億米ドル 2050年までにアフリナ の人口の**56%**が都 市部に。

上位20の大都市は 今後10年間で人口が 50%増える見込み イモハイルマネーの 世界的リーダーと して、人口の 49%が金融にフ クセス可能

変革を推進してアフリカの富を守る



現地で加工し、経済多様化を進める

生産性向上 経済的価 値の付加 雇用創出 貿易収支 歳入増加

2024年に完了したプロジェクトの開発インパクト

- 2,100万人のITサービスへのアクセスが向上
- 1,200社が資金調達手段による支援を受け、うち600社は女性が経営



セネガル - ダカール・パスツール研究所(IPD) - VAXSENプロジェクト

プロジェクト総額: 2億5,300万米ドル / AfDB融資額: 1,500万米ドル

承認:2024

AfDBの全体的な戦略の一環として、アフリカの医薬品セクターの能力強化、技術へのアクセス改善、アフリカでの持続可能かつ革新的な医薬品産業の発展というアフリカ医薬品技術財団の目的を補完するプロジェクト。アフリカの医薬品やワクチンの生産能力に貢献し、輸入依存の低減や、将来のパンデミックに対する備えと強靭性の強化を目指す。

期待される開発効果:

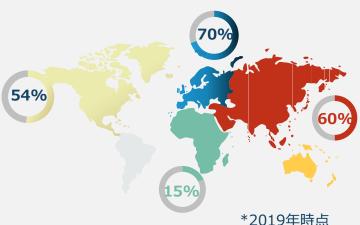
- ・ 3億回分のワクチン生産能力
- ・ 383人の直接雇用創出
- ・ 1カ所のワクチン工場を建設・整備

アフリカを連結し、開発を加速



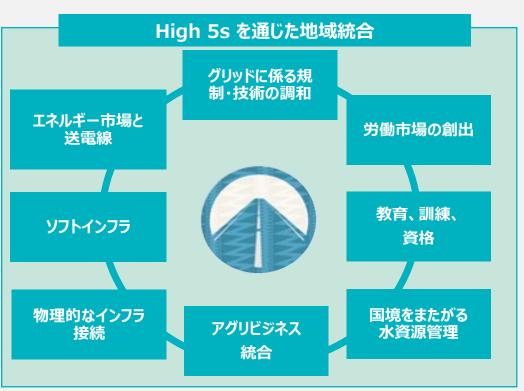
アフリカ域内貿易と経済協力の新時代を先導

アフリカ域内貿易は低水準*



アフリカ域内貿易の障害

- インフラの未整備
- 非関税障壁
- 越境貿易コストが高い
- ビザ開放度が低い



地域統合に対する強い政治的意思



アフリカ大陸自由貿易協定 (AfCFTA) に調印 – 1つの マイルストーン

世界最大の自由貿易圏

- 54か国が署名(30カ国が批准)
- 自由貿易の拡大促進・非関税障壁の削減

2035年までに期待されるACFTAの成果

- アフリカ域内貿易が90%に
- 貿易が4,500億米ドル増加
- 平均所得が7%増加
- 3,000万人が貧困から脱出

国境をつなぎ、競争力を向上



エスワティニ - 道路インフラ改善プログラム フェーズI

プロジェクト総額:1億7,600万米ドル/AfDB融資額:1億4,100万米ドル

承認:2024

安全で効率的かつ費用対効果の高い道路インフラへの投資によって、都市部と農村部における国内および地域の接続性や移動性を改善することを目的としたプロジェクト。これにより、経済活動の機会、社会経済サービスや雇用へのアクセスが開かれ、最終的には貧困緩和や経済発展に貢献することが期待される。

期待される開発効果:

- ・ 10万人の舗装道路へのアクセスが向上
- 106kmの気候変動に強い道路が建設
- ・ 輸送コストが平均50%減少
- 150人の雇用創出
- エスワティニと南アフリカおよびモザンビーク間の貿易量が5%増加

2024年に完了したプロジェクトの開発インパクト

- 360万人がより良い交通サービスにアクセス
- 1,000kmの国境を越える国道の建設または修復



人口潜在力をチャンスに変える



現在のアフリカ

- アフリカ人口の40%が貧困ライン以下で生活*
- 非農業労働人口の72%がインフォーマル(非正規)セクターに従事
- 若者の3分の1が無職
- 毎年1000万人が労働市場に 参入

2030年までに…

- 世界で最も貧しい 10カ国はアフリカの国
- 世界の貧困層の83%がアフリカ人
- 1億人の若者が無職
- ズ職者の50%しか 職に就けない



人口の69%が安全な飲料水にアクセス 可能

人口の33%が基本的な衛生サービスを 利用可能

アフリカの労働力をうまく吸収することが、アフリカの人口ボーナスを生み出すカギとなる

2050年までに アフリカの人口 は25億人に達 する

世界の人口 の20% 2030年までに 10億人の最大 かつ最も若い 労働人口

AfDBの戦略

- 若者向けの就業機会を創出することにより、非正規移民の 発生を減らす
- 第4次産業革命を活用し、科学技術分野で若者のスキル アップを図る
- 水・衛牛へのアクセスの改善
- 保健システムの強化

将来の課題に備える



ベナン - 農村地域の強靱性構築のための飲料水安全確保実現プログラム (PROSER MR)

プロジェクト総額:1億1,900万ユーロ / AfDB融資額:7,600万ユーロ

承認:2024

農村地域における安価で良質な飲料水利用の持続的改善に貢献するプログラム。具体的には、(i) 飲料水の供給、(ii) 水道水供給の持続可能性の確保、(iii) 公共上水道関係者の能力構築、(iv) ベナンの水インフラ会社の設立・運営を目指す。ベナンの11県のうち10県の農村地域に恩恵をもたらす。

期待される開発効果:

- ●96万5,000人の住民が水道網の高密度化と世帯接続を通じてサービスを受ける
- ●若者2,420人の直接雇用創出
- ●1,940基の配水塔が設置され、飲料水供給システムに接続

2024年に完了したプロジェクトの開発インパクト

- ・ **1,300万人**がより良い保健サービスにアクセス。うち600万人が女性
- 350万人が水へ新たにアクセス、又はアクセス改善
- **35万人**が衛生設備へ新たにアクセス、又はアクセス改善
- 22万人の直接雇用を支援



将来への備え



ナルカナンパローノントなせ

女性のエンパワーメントを推進

アフリカの女性の現状

女性のための 420億米ドルの 資金ギャップ 正規の長期融資が受けられるのは女性の 20%

中小企業の30% は女性が経営 農地所有者のうち 女性は15%

若い女性の 15%が無職



アフリカの女性のためのアファーマティブ・ファイナンス・アクション(AFAWA)は女性中小企業支援のために2026年までに50億米ドルの資金確保を目指す

AFAWAポートフォリオの実績

- 。 AFAWA設立以来25億米ドルを承認
- 女性経営中小企業に12億米ドルの融資を実行
- 40カ国の185金融機関と提携
- 1万8,200人の女性が金融にアクセス
- 2万4,000人の女性に研修を提供

女性起業家支援プログラム

- 。 10の女性ビジネス開発企業・団体の能力強化
- 26カ国において16,000人の女性にインパクト

AfDBグループのジェンダー戦略 2021- 2025



金融と市場へのアクセスを通じた 女性のエンパワーメント



スキルアップを通じた女性の雇用と機会創出の促進



インフラを通じた女性の社会サービスへのアクセス向上

AfDBの事業における ジェンダー主流化をシステム化



2024年にすべてのソブリン事業が分類され、 88%がジェンダー平等の成果を上げた



アフリカ開発銀行の財務状況



- 50557 # 688 0 (#-7 /1-987) FALBERESTS.

財務情報の概要

(百万米ドル)	2021	2022	2023	2024	2025 June
資産	50,840	50,866	52,955	55,391	65,764
融資	28,135	27,542	29,545	30,896	33,635
投資	13,707	15,588	16,613	18,742	24,938
現金	4,623	3,767	1,856	1,121	1,336
借入金	35,151	32,278	33,242	34,434	43,649
資本	12,185	13,152	14,509	15,958	17,217
払込済資本*	7,774	8,267	9,123	9,633	10,507
ハイブリッドキャピタル	-	-	-	750	750
準備金	4,410	4,885	5,386	5,589	5,935
分配前所得	135	318	545	462	145
引受済資本	207,801	197,987	198,719	213,232	228,001



注:報告通貨はIMFの特別引出権 (SDR: Special Drawing Rights)。データは期末時の為替レートで米ドルに換算したもの SDR/USD:1.39958 (2021); 1.33084 (2022); 1.34167 (2023); 1.30413 (2024); 1.37400 (2025 6月)

^{*} 払込資本毎の為替調整後の金額を累積で純計

AfDBのAAA、開発の原動力

株主からの 極めて強力な支援

優れたレベルの 流動性



優先的に弁済を受ける債権者としての 地位

Aaa/AAA/AAA 安定した見通し

強固な自己資本

慎重な財務・リスク管理 ポリシー

S&P Global

Ratings

「安定的見通しは、AfDBがソブリンおよびノンソブリン・ポートフォリオの両方で融資を拡大すると我々が予想していることを示している。同行は優先債権者待遇の恩恵を受け、良好な資金調達および流動性プロファイルを維持する見通しである」

2024年8月

FitchRatings

「AfDBは『優れた』流動性バッファーを持っており、ストレス下でも少なくとも1年間にわたり資本市場に頼ることなく債務を履行できるだけの流動性を保有するよう求める内部流動性ポリシー規則を遵守している」

2025年7月

Moody's

「AfDBは、継続的な増資に反映された株主からの『非常に高い』支持と、 定期的な増資以外で示された域外 株主の支持から恩恵を受けている」

2024年11月



Japan Credit Rating Agency, Ltd.

「AfDBは強固な自己資本と潤沢な 流動性に支えられ、堅固な財務基盤 を維持している」

2024年10月

高格付に合致した慎重なリスク管理ポリシー

外国為替リスクの軽減 SDR通貨バスケット*に 対応した純資産の通貨 構成



為替リスクを軽減した上で の様々な通貨建てによる 借入、投資、融資 慎重な流動性管理

少なくとも1年間にわたり資本 市場から追加の資金調達の 必要なく、債務償還及び融資 実行の資金繰りが可能な流 動性を保持



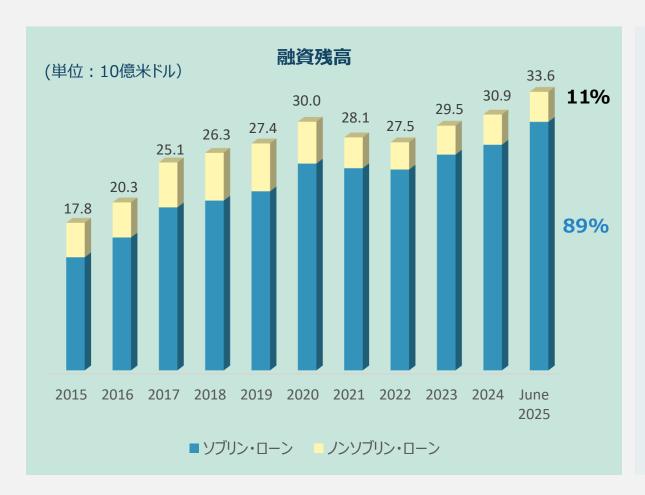
承認されたカウンター パーティそれぞれにつ き、エクスポージャー・ リミットを設定する堅 実な枠組み **デリバティブを活用**した金利・為替リスクの ヘッジ

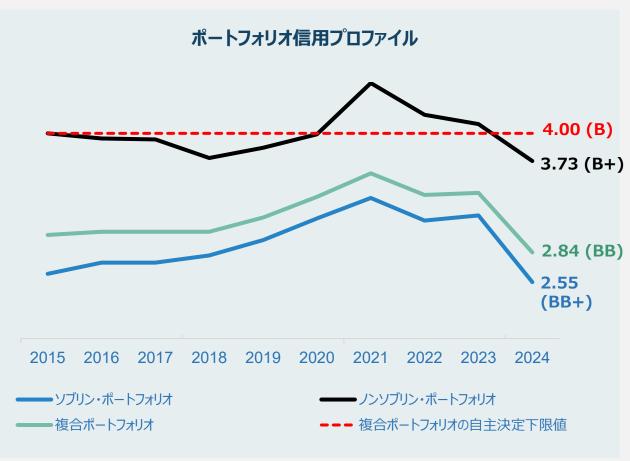
取引の相手方に係る 信用リスクを最小化

資金管理部門の活動に 関し、最低信用格付けを 設定。

流動性運用の対象はA、 デリバティブのカウンター パーティはA-

アフリカの変革を支えるための融資

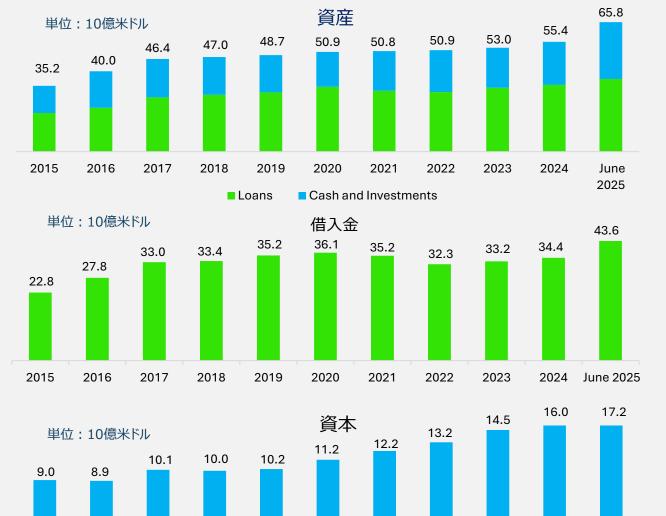




加重平均リスク格付け(WARR)が、AfDBの目標範囲である3(BB)及び4(B)以内であること

AfDBの開発使命のための資金調達に資本を活用





2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

2023

2024 June 2025

レバレッジ = 負債/利用可能資本

利用可能資本 = Σ (払込済資本、準備金、格付がA-以上の非借入加盟国の請求払い資本)



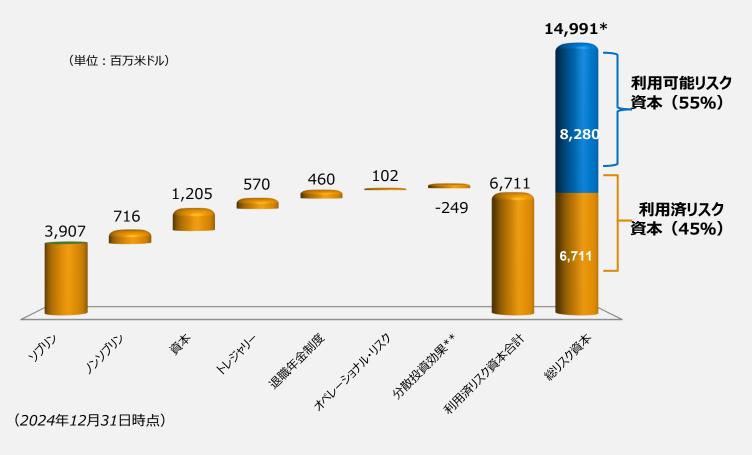


2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

── 自主決定下限値 ── レバレッジ 比率

資本を活用してアフリカで効率的に事業を実施

各種エクスポージャー及びエクスポージャー額に牽引される AfDBのリスク資本利用状況



リスク資本 = 払込済資本 + 準備金 + 調整金

リスク資本利用率 = Σ [[エクスポージャー] * [リスク資本負担]]/総リスク資本

^{*}株式投資・借入評価調整後総リスク資本

^{**}分散投資効果はリスク間の相関関係から生じる

High 5sのための資本の再配置における革新

AfDBの影響力を高めるためバランスシートの最適化

- 2025年4月に32億米ドルの第4次エクスポージャー交換アグリーメントを締結し、健全性レシオの向上を図るとともに、域内加盟国向けの追加的な融資能力を解放
- ・ 南アフリカにおける「公正なエネルギー移行」を支援するため、 英国外務・英連邦・開発省(FCDO)が10億米ドルの保証 を提供 – 最初の融資は2025年末までに実行予定
- ・ 南アフリカ開発銀行と共同で、民間セクターポートフォリオを対象とした20億米ドルの複数発行体CLOシンセティック証券化を実施 2026年第1四半期に発行予定

部分信用保証(PCG)により ソブリン向け融資へのアクセスを拡大

- トーゴ共和国が期間20年の商業信用枠にアクセスし、年金 基金資金を呼び込むのを支援するため、ADFが2億ユーロの PCGを提供
- コートジボワール共和国向けの5億7,000万ユーロの信用枠 (同国のサステナブルファイナンス枠組みに沿ったユーロおよび XOF建てトランシェで構成)から期間15年のサステナブル融 資を動員するため、4億ユーロのPCGを提供
- タンザニア標準軌鉄道の第6フェーズを支援し、多様な投資家から22億米ドルを調達するため、8億米ドルのPCGを提供

年間最優秀ソブリンシンジケー トローン取引

4億ユーロの保証を通じて動員されたセネガルの**5億ユーロ**のサステナブルタームローンファシリティ

マンデートを受けたリードアレンジャーとして大規模な変革プロジェクト向けの資金を確保

- 2024年にアレンジャーのマンデートを通じて7億5,000万米ドルを調達
- 輸送、エネルギー、産業セクターの資金調達のため3つの新たなマンデートを確保:
 - アイシャ風力発電プロジェクト:1億3,000万米ドル
 - ビショフトゥ国際空港:約50億米ドル
 - コートジボワールの大気浄化プロジェクト:4億ユーロ
- 90億米ドルを超える継続的な資金調達マンデート

ローン組成時に保険会社の能力を配分

- 保険ブローカーが主導する3,000万米ドルの国有輸送企業 向け取引の取引組成時における保険参加
- 内部の国別融資限度額にかかわらず、AfDBが必要な融資額を承認できるようにするため、営利保険会社2社が取引を支援
- 2025年のパイプライン評価額は2億米ドル

顧客のニーズを満たすための資金調達



グローバルバンキング&マーケッツ・アワーズ アフリカ 2025



年間最優秀ESG融資取引

ルワンダの**2億ユーロ**の保証付き ESG融資

パートナーからの資金動員により開発業務にレバレッジをかける

信託基金の事例 8億9,000万米ドル



カナダ・AfDB気候ファンド 1億3,300万カナダドル



アフリカの持続可能エネル ギー基金 (SEFA) 4億6,700万米ドル



アフリカ水ファシリティ 1億8,400万ユーロ



アフリカ民間セクター向け支 援基金(FAPA) 1億2,100万米ドル

共同融資協定の事例 99億米ドル





フランス開発庁(AFD) 20億ユーロ



欧州委員会

10億ユ-ロ (承認済) (承認済)



韓国アフリカ・エネルギー投 資枠組 6億米ドル



中国人民銀行 (アフリカ共同 成長基金 AGTF) 20億米ドル

覚書(MOU)の事例



イスラム開発銀行 20億米ドル



OPEC基金



マイクロソフト

団結してより大きな インパクトを生み出す

パートナー

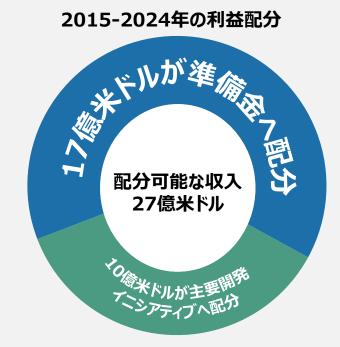
- 二国間及び多国間の開発機関
- MDBs
- 国連機関
- 慈善団体及び財団
- 民間セクター

堅調な財務実績を持つ堅固な機関

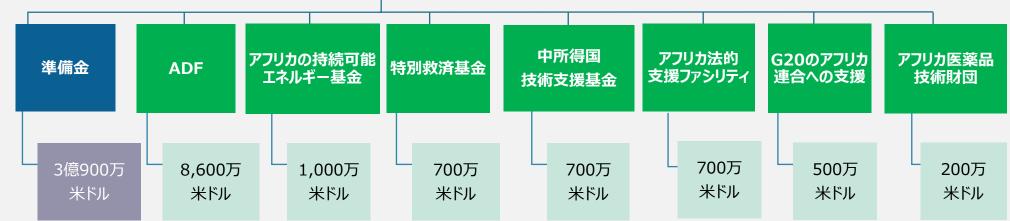
配分可能な収入

AfDBの純利益から配分に利用可能な部分。配分可能な収入からまず準備金へと充当される





2024年の純利益移転案

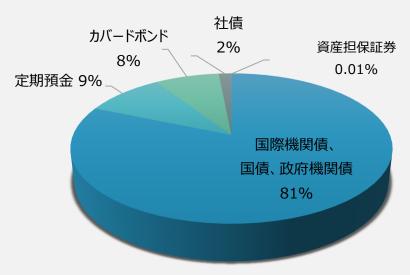


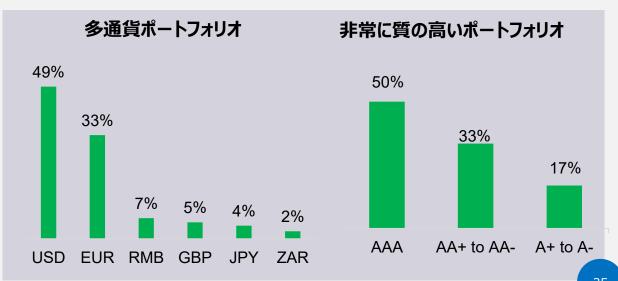
質の高い資産に投資されるAfDBの流動性



少なくとも1年間にわたり資本市場からの追加の資金調達の必要なく、 債務償還及び融資実行の資金繰りが可能な流動性を保持

目標達成のための保守的なポートフォリオ構成





(2025年6月30日時点)



資本市場における取組み

AAA格付をレバレッジにアフリカの開発ニーズを満たす

世界中の27の市場にまたがる多様な資金調達プロファイル





流動性の高い グローバルベンチマーク 債の発行において 高い実績を保持

グローバルな投資家層の深化と拡大

ESG投資家の ニーズに対応 アフリカの資本市場 の発展を支援

米ドルグローバルベンチマーク債、AfDB融資戦略の要

2024年1月

2024年9月

2025年3月

2025年6月

2025年6月



20億米ドル 4.125% 3年ソーシャルベンチマ ーク債 2027年2月 償還UST +10.3bps MS +31bps



20億米ドル 3.500% 5年ソーシャルベンチマ ーク債 2029年9月 償還UST +11.3bps MS +41bps



20億米ドル 4.000% 5年グローバルベンチ マーク債 2030年3 月償還UST +14.3bps MS +43bps



20億米ドル 3.875% 3年グローバルベンチ マーク債 2028年6 月償還UST +6.55bps MS +33bps



10億米ドル 4.500% 10年グローバルベンチ マーク債 2035年6 月償還UST +11.7bps MS +64bps

AfDB初の10 年米ドル建て ベンチマーク債

初のデュアルトランシェ債(3年/10年)

…深化・拡大しつつある投資家基盤

コンバインド・オーダーブックは200億米ドルを超え、407件のオーダーと23の新規投資家を獲得



アセットマネジャー 14% 銀行の財務部

41%

- 強固なファンダメンタルズとAAA格付
- 質の高いオーダーブック
- 質の高い入札結果
- 良好な流通市場パフォーマンス
- 強固な開発マンデート

ユーロ債発行:実績を拡大

2024年5月

2025年5月



5億ユーロ 2.875% 4年 グリーンベンチマーク債 2028年3月償還

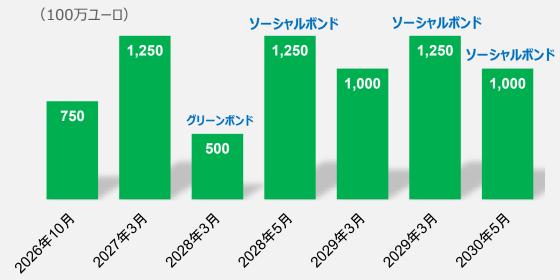
Bund + 39.5bps OAT + 9.7bps ミッドスワップ + 2bps

> ユーロ初の グリーンボンド

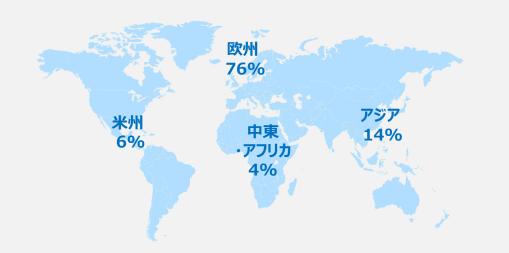
10億ユーロ 2.5% 5年 ソーシャルベンチマーク債 2030年5月償還 Bund + 37.2bps

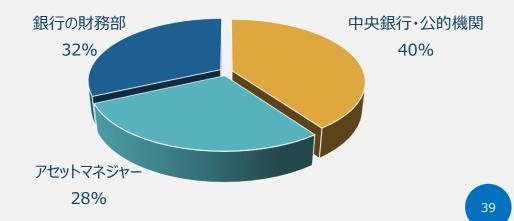
OAT - 2bps ミッドスワップ + 28bps

約70億ユーロのグローバルベンチマーク債



AfDBの新規投資家の分散





5-70000プ (B ROSE 巻 (ボーツ バータリッドル (基別をもんじん)。

欧州市場における投資家層の拡大

スウェーデン・クローナ(SEK)建て債券の償還期限別残高



英ポンド建てベンチマーク債の発行残高

7億英ポンド 0.5% グローバルベンチマーク債 2026年6月償還 UKT + 27 bps 15億英ポンド 4.625% グローバルベンチマーク債 2028年2月償還 SONIA + 34 bps

ノルウェー・クローネ (NOK) 建てサステナブルボンドの発行残高





14年ぶりにスイスフラン市場に復帰

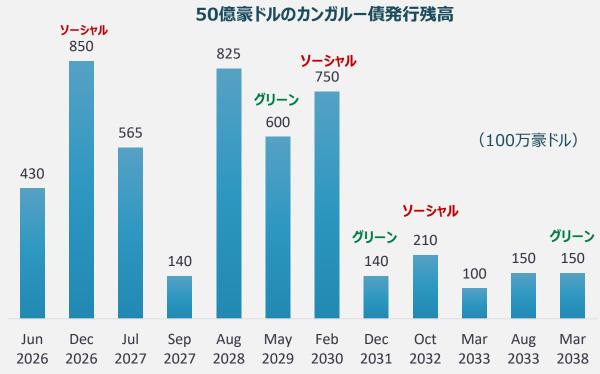
1億スイスフラン 1.603% 固定利付債 2028年7月償還





ルーンログウグ B 00M 色(ターブ パーツをワッドル 配合者をレデンと。

費用効率の適切な資金提供を求めて



2024-2025年には20億豪ドルを発行

2024年2月	2024年4月	2025年2月	2025年9月
The country of the co	The second	The De	Try committee
6億豪ドル グリーンカンガルー債 2029年5月償還	2億5,000万豪ドル ソーシャルカンガルー債 2026年12月償還 タップ発行	5億豪ドル ソーシャルカンガルー債 2030年2月償還	2億5,000万豪ドル ソーシャルカンガルー債 2030年2月償還 タップ発行
BBSW+46bps	BBSW+27bps	BBSW+50bps	BBSW+45bps

2025年の私募債発行事例

2024年に10億米 ドルの私募債及び 売出債発行、 借入の17%



2013年以降、43億米ドルのグリーンボンドを発行

サステナブルボンド枠組み初のグリーンボンド発行

2024 6億豪ドル5年グリーンボンド 2029年5月償還 ユーロ市場初の グリーンボンド

2024 5億ユーロ 4年グリーンベンチマーク債 2028年3月償還







社会的責任投資家

アファーマティブIM、アライアンス・バーンスタイン、アムンディ、AP2、AP3、AP4、AP7、APG、ブラックロック、ブラウン・アドバイザリー、カリフォルニア州教職員退職年金基金、カルバートIM、シカゴ市、ノルウェー地方金融公社、ノルデアIM、PGGM、ピクテAM、プラクセス・インパクト基金、SEB AM、ソニー銀行、ストアブランド、Syntrus Achmea、大樹生命、TIAA-CREF、トリリウムAM、チューリッヒ保険

適格なグリーンプロジェクトカテゴリー

- 再生可能エネルギー
- 持続可能なモビリティ
- エネルギー効率
- 生物天然資源と土地利用の環境的に持続可能な管理
- 持続可能な上下水道管理

360万トンのCO₂排出削減へのAfDBグリーンボンドポートフォリオによる貢献(2024年12月時点)

実施国	グリーンプロジェクト事例
ナイジェリア	ヨベ州環境・気候変動対策プロジェクト
ケニア	送電網整備プロジェクト
カーボベルデ	カベオリカ風力発電プロジェクト
南アフリカ	レッドストーン100MW 集光型太陽光発電プロジェクト
チュニジア	気候レジリエンス構築のための処理済み廃水水質改善プロジェクト

ソーシャルボンドによる包摂的 (インクルーシブ) な成長への インパクトあるファイナンス

2024年 20億米ドル 3年ソーシャル ベンチマーク債 2027年2月償還 2024年
2億5,000万豪ドル
2年ソーシャル
カンガルー債
2026年12月償還
タップ発行

2024年 20億米ドル 5年ソーシャル ベンチマーク債 2029年9月償還

2025年 7億5,000万豪ドル 5年ソーシャル カンガルー債 2030年2月償還 2025年 10億ユーロ 5年ソーシャル ベンチマーク債 2030年5月償還

2017年以降 140億米ドルの ソーシャルボンド を発行

サステナブルボンド 枠組み初の ソーシャルボンド発行

MDBの中で最大のソーシャルボンド発行体(2024年12月時点)

貧困削減のための具体的活動

- 手頃な価格の基本インフラ
- 必要不可欠なサービスへのアクセス
- 食料安全保障と持続可能な食料システム
- 雇用創出と中小企業金融やマイクロファイナンスを含めた 社会経済危機に起因する失業の防止・緩和を目的とした プログラム
- 社会経済的向上とエンパワーメント

実施国	ソーシャルプロジェクト事例
コートジボワール	経済・社会改革支援プログラム - フェーズIII
モロツコ	社会的保護向上支援プログラム
ナイジェリア	エキティ州ナレッジゾーンプロジェクト
チュニジア	雇用創出を通じたビジネス競争力と国民のエンパワーメントのための支援プログラム
タンザニア	タンザニア農業開発銀行 フェーズII

N-30000 B 008 945-3 (1-1939-14-1888-1-3-2-)

High 5sと結びついたテーマ債

私募・売出債により ESG投資家のニー ズに対応

アフリカの人々の生活を変える上で不可欠なAfDBの開発優先事項に 関連したテーマ債

調達資金は関連する High 5分野への融資 にベストエフォート方式 で配分 魅力的な資金調達 レベルで、全体のコス トを軽減 人々の生活の質の向上

アフリカの電化

工業化

地域統合

食料増産

2016年以降33 億米ドルのHigh 5 テーマ債を発行

最近のHigh 5テーマ債



1億5,000万ガーナ・セディ 2028年1月償還 「アフリカの電化」



2億8,000万ザンビア・ク ワチャ 2029年1月償還 「食料増産」



1億5,000万日本円 2044年3月償還 "地域統合"



5億5,000ブラジル・レア ル 2034年6月償還 「工業化」



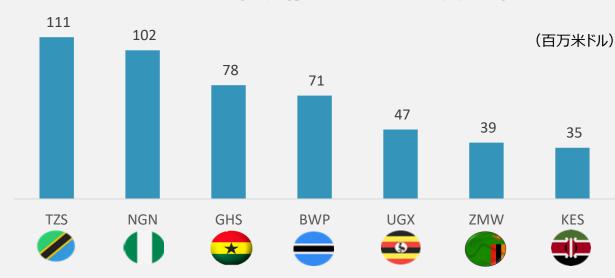
2,500万米ドル 2030年5 月償還 「人々の生活の質の向上」

アフリカの資本市場のポテンシャルを十分に活用

貸付通貨を拡大

ZMW - ザンビア・クワチャ NGN - ナイジェリア・ナイラ UGX - ウガンダ・シリング ZAR - 南ア・ランド BWP - ボッワナ・プラ XOF - CFAフラン (西アフリカ 諸国中央銀行発行) XAF - CFAフラン (中部 アフリカ諸国銀行発行) EGP - エジプト・ポンド KES - ケニア・シリング TZS -タンザニア・シリング GHS - ガーナ・セディ

2015-2025年に発行されたアフリカの通貨建て取引



承認されている現地通貨建債券発行プログラム

1億6,000万ザンビア・クワチャMTNプログラム 1,600億ナイジェリア・ナイラMTNプログラム 1,250億ウガンダ・シリングMTNプログラム 50億ボツワナ・プラMTNプログラム 200億南ア・ランドインワード・リスティング・プログラム

南ア・ランド建て債券の償還期限別残高



MDBコミュニティ内ハイブリッドキャピタル導入の先駆者

ハイブリッドキャピタルは 株主資本を補完する

- IFRSに基づき100%が資本として計上される
- 100%がAfDBの内部資本適合性基準で計上される
- フィッチ、ムーディーズ、S&P*は想定元本の 100%を資本として認識
- * S&Pはハイブリッドキャピタルを中間資本内容として評価した。これは、調整後普通株式(ACE)の33%まで、手形を調整後資本合計(TAC)に全て含むことを意味する。

サステナブルハイブリッドキャピタルの活用

- ハイブリッドキャピタルは、1米ドルの調達ごとに、 少なくとも2米ドルの追加融資を可能にすること が見込まれている
- 環境・社会事業への出資に向けた追加融資 能力
- AfDBのサステナブルボンド枠組みの下で発行

国際機関発行の初のハイブリッドキャピタル

AA- (S&P) / Aa3 (ムー ディーズ) ■ 任意のクーポン消却

強制的なクーポン消却: トリガーは総資産/(払込済資本+ 準備金) > 7.5倍

払込済資本のみ に優先する最劣 後シニア債

- AfDBが請求払資本の払込請求を行った場合、元本は恒久的に評価減となる
- 10.5年コールオプション付き永 久債







"最も革新的なSSA 発行体"



"年間最優秀開発金融機関 (DFI)"



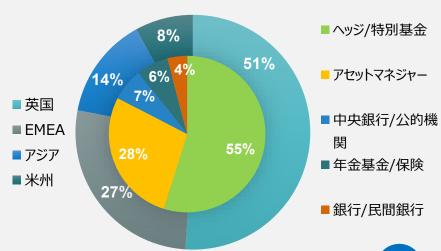
2024年1月に最初の取引が開始



7億5,000万米ドル 5.75% PerpNC10.5 サステナブルハイブリッド キャピタル UST + 157.5bps

- 最高品質できめ細かなオーダー ブックは過去最高の51億米ドル に到達(6.8倍のオーバーサブ スクライブ)
- 需要ピーク時には60億米ドル
- 275の投資家が参加(うち 190は分配済み)

投資家の分布





AfDB 貸借対照表ハイライト(単位:百万UA)

12月31日期末	2024	2023	2022	2021	2020
現金	859.306	1,383.15	2,830.74	3,303.14	2,332.19
要求払い預金	1.15	1.15	1.14	1.14	3.82
財政投資	14,371.34	12,382.66	11,712.63	9,793.90	8,825.82
デリバティブ資産	863.319	895.35	924.35	825.94	1,544.55
資本勘定の非譲渡性証券	-	36.88		-	-
未収金	1,648.26	1,830.38	1,323.22	1,178.23	590.77
融資残高	24,191.76	22,749.19	20,695.33	20,102.39	21,343.23
ヘッジを行った融資 – 時価に評価替え	-217.55	-278.76	-394.44	48.52	163.78
貸倒引当金繰入額	-500.55	-727.78	-732.26	-559.57	-497.41
資本参加	1,090.63	1,119.07	1,043.84	983.2	937.27
その他の資産	165.65	115.27	84.41	88.75	104.67
資産合計	42,473.32	39,469.69	38,221.22	36,325.22	35,348.69
負債·資本·準備金					
未払金	1,779.56	1,871.02	1,459.40	1,554.59	1,544.26
デリバティブ負債	2.054.34	2,007.87	2,624.88	949	923.72
借入金	26,404.03	24,776.41	24,254.21	25,115.71	25,090.10
引受済資本金	7,533.48	6,951.69	6,366.24	5,710.57	5,081.21
引受に対する為替換算調整累計額	-146.71	-151.64	-154.17	-155.84	-148.21
準備金	4,285.76	4,014.34	3,670.66	3,151.19	2,857.61
負債·資本·準備金合計	43,473.32	39,469.69	38,221.22	36,325.22	35,348.69

1 UA = 1 SDR = USD 1.44027 (2020); 1.39958 (2021); 1.33084 (2022); 1.34167 (2023); 1.30413 (2024)

^{*} UA= Unit of Account

AfDB 損益計算書(単位:百万UA)

12月31日期末	2024	2023	2022	2021	2020
一 営業損益					
融資及び関連デリバティブ	1,419.01	1,223.55	521.57	348.24	460.62
投資及び関連デリバティブ	534.49	459.6	218.16	129.34	181.44
資本参加からの収益	20.22	20.48	14.19	23.86	15.25
その他債券からの収益	11.69	7.94	6.89	5.53	2.9
融資及び投資からの収益合計	1,985.41	1,711.57	760.8	506.97	660.21
利息及び債券発行費用の償却	-647.97	-515.69	-418.13	-393.78	-501.12
借入関連デリバティブの純利息	-754.77	-676.02	64.14	322.73	248.18
借入金及び関連デリバティブの未実現損失	-7.81	59.48	88.9	-111.21	63.17
融資元本及び未収手数料の減損引当金	9.47	-18.29	-97.02	-24.97	-59.86
株式投資の減損引当金	-0.28	0.68	1.53	-0.26	-1.71
投資の減損引当金	-0.05	-0.03	0.03	-0.07	-0.04
金融保証の減損引当金	-3.95	-1.43	0.87	-0.16	0.26
為替(損)益	-1.27	-10.98	66.46	-1.48	-23.18
その他の利益	20.02	18.32	13.99	13.43	8.6
純営業利益	598.81	567.61	481.57	311.21	394.52
管理費	207.69	-133.12	-207.16	-174.55	-158.41
償却 - 有形・無形資産	34.84	-28.09	-29.09	-32.75	-33.16
雑勘定(費用)/収益	1.87	-0.36	-6.04	-7.36	-4.55
その他の費用合計	244.40	-161.57	-242.3	-214.66	-196.12
総務会承認の配分前利益	354.41	406.05	239.28	96.55	198.4
総務会承認の利益配分	-106.00	-46	-64	-55	-59
当期純利益	248.41	360.05	175.28	41.55	139.4

1 UA = 1 SDR = USD 1.44027 (2020); 1.39958 (2021); 1.33084 (2022); 1.34167 (2023); 1.30413 (2024)

^{*} UA= Unit of Account



サステナブルボンド 枠組み



新しいサステナブルボンド枠組みでESG市場を前進させる

信頼性と透明性を備えたサステナブルボンド枠組み

- 2023年9月設立
- 既存のグリーンボンド枠組み(2013年)及びソーシャルボンド枠組み (2017年)を統合・合理化
- ICMAグリーンボンド原則(2021年)、ソーシャルボンド原則(2023年)、サステナブルボンド・ガイドライン(2021年)と整合
- 新枠組みの下、グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナブルボンドを発行し可能
- AfDBの年次サステナブルボンドニュースレターで広範なインパクト報告を公表
- 適格グリーン/ソーシャルプロジェクトへのサステナブルボンドの配分について、 毎年外部保証を実施
- 無担保シニアボンドとサステナブルハイブリッドキャピタルボンドの両方の発行 に対応

https://www.afdb.org/sites/default/files/2023/09/12/230912 afdb sustainable bond framework final.pdf

Moody's

INVESTORS SERVICE

サステナブル・クオリティ・スコア2 [非常に良い]

セカンド・パーティ・オピニオン

大幅な貧困削減と雇用創出につながる強力な社会的成果と影響を持つプロジェクトに融資

適格な社会 プロジェクト カテゴリー

- 手頃な価格の基本インフラ
- 必要不可欠なサービスへのアクセス
- 食料安全保障と持続可能な食料システム
- ・ 雇用創出と中小企業金融やマイクロファイナンスを含めた社会 経済危機に起因する失業の防止・緩和を目的としたプログラム
- 社会経済的向上とエンパワーメント

気候変動の緩和と適応に焦点を当てたプロジェクトに融資

適格な グリーン プロジェクト カテゴリー

- 再生可能エネルギー
- 持続可能なモビリティ
- エネルギー効率
- 生物天然資源と土地利用の環境的に持続可能な管理
- 持続可能な上下水道管理

https://www.afdb.org/sites/default/files/2023/09/12/mis_spo_12092023_afdb_final.pdf

AfDBのサステナブルボンド枠組み

資金使途

- ◆ADBが融資するプロジェクトのみ
- サステナブルボンドの純収 益と同額が適格グリーン/ ソーシャルプロジェクトに充当
- 気候変動ファイナンスのトラッキング手法と連動したグリーンボンドポートフォリオの 適格基準

プロジェクト評価と 選考のプロセス

- ●業務部門が全プロジェクトを 特定・分類し、環境・社会 的な成果や影響が大きい案 件を選別
- ●業務部門と財務部門が共同で合意したグリーン/ソーシャルプロジェクトの最終選定
- 持続可能なポートフォリオの モニタリング

収益の管理

- ●ポートフォリオアプローチ
- ●サステナブルボンドの純収益 と同額を36カ月以内にサス テナブルプロジェクトに配分
- ●適格なサステナブルプロジェクトへの純収益の結びつきを保証する、認証された正式な内部プロセスを通じて、半期ごとに配分が追跡される
- ・サステナブルボンドが全額配分されない限り、純収益は流動性自己ポートフォリオに保管され、同じ保守的投資ガイドラインの下で投資される

報告

- ◆サステナブルボンド専用ウェブページ
- ●年次サステナブルボンドニュースレター
- ●適格グリーン/ソーシャルプロジェクトの環境的・社会的便益に関する年次インパクト報告
- ●プロジェクトカテゴリー毎の開発インパクト指標
- ●サステナブルボンドポートフォリオの主要なインパクト指標を含むインパクトの集計報告
- ◆グリーン/ソーシャルプロジェクトへの資金支出と配分に 関する情報開示

対外保証

- ・ムーディーズインベスターサー ビスによるセカンドパーティオ ピニオンにより、サステナブル ボンド枠組みが、AfDBのサ ステナビリティ目標、ICMAグ リーン&ソーシャルボンド原則 およびサステナブルボンド・ガ イドラインの主要な特徴と整 合していることを確認
- サステナブルボンドの純収益の適格グリーン/ソーシャルプロジェクトへの配分を独立した外部レビュアーが毎年検証

透明性へのコミットメント

サステナブルボンド専用ウェブページ

- サステナブルボンド枠組み
- ムーディーズのセカンドパーティ オピニオン
- ■適格グリーン/ソーシャルプロ ジェクト
- サステナブルボンドニュースレター
- サステナブルボンド取引
- ■10力年戦略
- ■環境政策
- ■エネルギー政策

- ■統合セーフガードシステム
- ■気候変動資金に関するMDB 共同報告書
- ■気候変動資金追跡方法論
- ■年次開発効果レビュー (ADER)
- ■アフリカのエネルギーに関する ニューディール
- ■アフリカ経済見通し

建設または改修された再生可能エネルギー

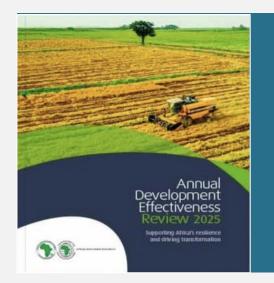
透明性へのコミットメント

- 年間エネルギー節約量と生産量
- 削減または回避された年間温室効果ガス 排出量
- 裨益者数

インパクト報告書:

- 創出された雇用の数
- その他のプロジェクト・カテゴリー固有の指標





は毎年発行され、 AfDBの公共および民間セクターの 全プロジェクトをモニタリングし、開 発目標に対するアフリカの進捗状 況の詳細を示し、アフリカの開発に 対するAfDBの貢献を評価

Aid Transparency Index #2024Index African Development Bank's sovereign portfolio retains top spot in 2024 **Aid Transparency Index** Publish What You Fund RANKING: 1/50 **VERY GOOD**

ソーシャルボンド・インパクトレポート

ソーシャルポートフォリオ全体のインパクトレポート(2024年12月時点)

1,020万トン

年間農業 生産量の増加

28万7,000社

金融へのアクセスを 支援した 中小零細企業

8.3 MTCO₂e

削減または回避 された年間温室 効果ガス排出量

230万人

電力への アクセスが改善

120万人

創出・保護された 雇用者数

140万ヘクタール

農業用に灌漑 または開発された 耕作地

48万4,000人

研修の受講者数

日量56万6,000m3

水の生産量

780万人

水・衛生への アクセスが改善

2億50万人

裨益者

- このインパクトレポートはプロジェクト評価時点における事前推定に基づいているため、これらの成果が最終的に実現する保証はない。
- このインパクトレポートは、特定の年または報告期間に達成された実際の成果を提示するものではない。
- インパクトは、プロジェクトに占めるAfDBの経済的シェアに応じて比例配分される。
- プロジェクトごとの完全なインパクトレポートは、AfDBのサステナブルボンドのウェブページからダウンロード可能。

(2024年12月31日時点)

グリーンボンド・インパクトレポート

グリーンポートフォリオ全体のインパクトレポート(2024年12月時点)

360万MTCO₂e

削減または回避 された年間温室 効果ガス排出量

693 MW

建設または改修された 再生可能 エネルギー容量

207万MWh

再生可能エネルギー の年間生産量

29万7,000 MWh

年間エネルギー 節約量

2億4,700万m³

年間の節水・ 水処理量

1億2,400万m³

処理・再利用・回避 された年間廃水量

7万5,000ヘクタール

灌漑地

4万2,000ヘクタール

修復または保護された 荒廃林

53万4,000本

植林数8

1,340万人

裨益者9

280万人

雇用創出

- このインパクトレポートはプロジェクト評価 時点における事前推定に基づいている ため、これらの成果が最終的に実現す る保証はない。
- このインパクトレポートは、特定の年または報告期間に達成された実際の成果を提示するものではない。
- ・ インパクトは、プロジェクトに占める AfDBの経済的シェアに応じて比例配 分される。
- プロジェクトごとの完全なインパクトレポートは、AfDBのサステナブルボンドのウェブページからダウンロード可能。

(2024年12月31日時点)

変革的なソーシャルプロジェクトへの融資

チュニジア - 雇用創出を通じたビジネス競争力と国民のエンパワーメントのための支援プログラム

プロジェクト総額:5億2,200万ユーロ / AfDB融資額:9,000万ユーロ

承認:2024年

新規ビジネスの創出、既存ビジネスの成長とフォーマル化、若者と女性の質の高い雇用へのアクセス改善を促進するプログラム。

これに関する主な成果分野は次の3つ。i) 求職者の雇用可能性や民間セクターの生産性および競争力を向上させるためのスキル開発、ii) 起業家精神とビジネスのフォーマル化支援を通じた国民のエンパワーメント、iii) プログラムの実施と制度的能力の構築に向けた支援。

プロジェクト総額:1億1,500万ユーロ / AfDB融資額:8,400万ユーロ

モロッコ - 森林地域の包摂的かつ持続可能な開発支援プロジェクト

承認:2024年

i) 天然資源の持続可能な管理、および ii) 林業バリューチェーンの包括的な推進と (技術支援による) 林業・養殖業の起業家精神の育成を通じて、森林住民の生活 環境改善と農村中産階級の創出に貢献することを目的としたプログラム。

気候変動に立ち向かうモロッコ経済の強靭性の強化、特に水循環の改善も目指す。

期待される開発成果

- 1万5,000社に無利子融資を提供
- **2万1,550社**の中小零細企業または協同組合の金融へのアクセスを支援
- ・ 3万人の求職者に研修を提供
- 最も脆弱な人々のために1万7,000世帯の衛生設備を整備・改修
- 11万8,900人の雇用創出

期待される開発成果

- 年間の森林再生ペースが平均700へクタール増加
- **8,900ヘクタール**の侵食被害地を修復
- 4,200ヘクタールの森林地域を修復
- **120km**の林道と15箇所の給水所を修復
- 水生環境に放流するために440万匹の稚魚を生産
- 1万7,000人の雇用創出

変革的なグリーンプロジェクトへの融資

ナイジェリア - ヨベ州環境・気候変動対策プロジェクト

プロジェクト総額:1億100万米ドル / AfDB融資額:5,000万米ドル

承認:2024年

ヨベ州における食料生産や収入の機会創出により、気候変動に対するレジリエンスの強化や食料不安の軽減を目指すプロジェクト。そのために、i) 苗木を生産する既存の苗床の改修、ii) 荒廃したオアシスの再生による農業生産地の拡大、iii) 河畔地域における農業用水管理計画の推進、iv) 炭素隔離の開発・導入、v) 森林木材に依存しない中小零細企業の設立、vi) 産業向けおよび家庭向けのクリーン調理用代替エネルギーの創出、vii) 炭素市場にアクセスするためのシステムの構築を行う。

期待される開発成果

- ・ 12万ヘクタールの荒廃した森林を再生
- 年間40万トンのCO₂e排出量を削減
- 2,000万本の植林
- 米と小麦の生産量が7万5,000トン増加
- 2,000人の雇用創出

ケニア - 送電網整備プロジェクト

プロジェクト総額:1億1,500万ユーロ / AfDB融資額:5,400万ユーロ

承認:2023年

人々の生活の質の向上、女性と若者のビジネス活動や雇用創出の促進、および環境 悪化の抑制に役立つ電力アクセスの拡大を支援し、それによってプロジェクト対象地域 の全体的な経済成長を実現するプロジェクト。主な開発目標は、高圧送電網の送電 能力を増強し、グリーン電力供給の信頼性と効率を高めること。このような改善は、プロ ジェクト地域の社会経済的発展や低炭素開発の強化を可能にする重要な要素であ る。また、化石燃料発電所からの温室効果ガス排出量の削減や、送電線の過負荷に 伴う損失の低減にも貢献する。

期待される開発成果

- 272kmに及ぶ132kVおよび220kV送電線を敷設
- 44MWの再生可能エネルギーを送電
- 年間1,288トンのGHG排出量を削減
- **2万本**の植林
- 70の新たな変電所を建設または改良・アップグレード
- 450人の雇用創出

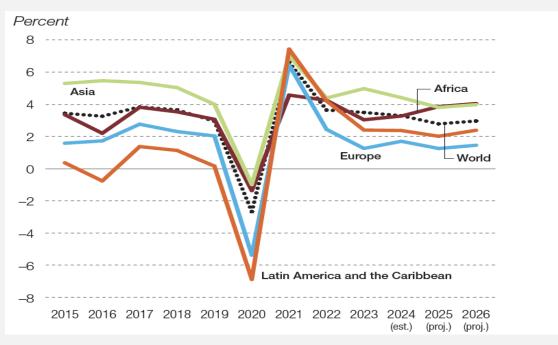


アフリカ経済見通し

The state of the s

世界的な不確実性の中、経済の強靭性(レジリエンス)

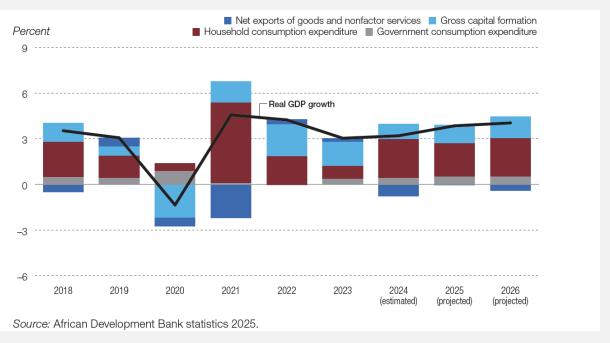
地域別実質GDP成長率 2015-2026年



財政赤字の拡大はプライマリー赤字の増加を反映

財政赤字は2023年の4.4%から2024年には4.7%に拡大したが、 2025年と2026年には4.5%に縮小する見込み。財政赤字は徐々にパ ンデミック前の水準に戻りつつあるが、主に高水準のプライマリー赤字により、 そのペースは依然として緩慢。

GDP成長の需要構成 2018-2026年

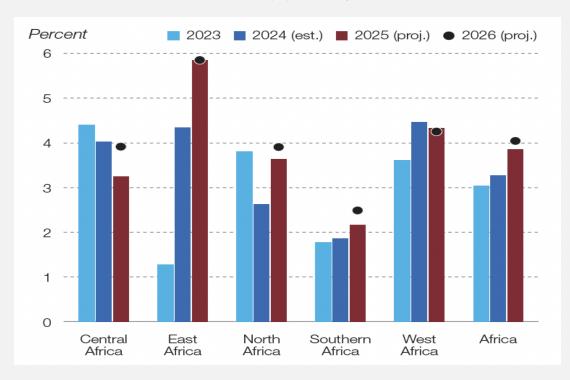


インフレ圧力を受け、多くの国で予想インフレ率が中期目標を上回る

2024年のインフレ率は平均18.7%で、国内の食料供給ショックと通貨下落の 波及効果が主な押し上げ要因となった。平均インフレ率は2025年には13.8%、 2026年には9.9%に低下する見通し(1桁台となるのはパンデミック後初めて)。 6-10007 B 668 B1F-7 (1-187)+(488856262)

東部アフリカが牽引する景気回復の予測

地域別実質GDP成長率



中部アフリカ

成長率は2023年の平均 4.4%から2024年には4%と なり、2025年には3.2%、 2026年には3.9%に低下す る見通し。2025年の落ち込 みは、世界貿易の不確実性 の高まりと低調な見通しによる 石油・鉱業生産の減速や公 共投資の抑制を反映している。

東部アフリカ

長らくアフリカ随一の急成長地域として定着しており、実質GDP成長率は2024年の平均4.3%から2025年と2026年には5.9%に加速する見込み。ショックへの強さは、一部の国の経済がアフリカで最も多角化が進んでいることが要因の可能性。

北部アフリカ

2024年の2.6%という緩やかな成長率の後、リビア、エジプト、モロッコの成長回復を追い風に、2025年には3.6%、2026年には3.9%の成長が見込まれる。

南部アフリカ

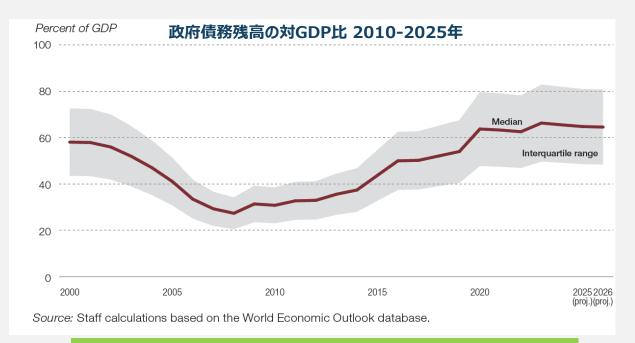
成長率は2024年の推定 1.9%から、2025年には 2.2%、2026年には 2.5%へと上向く見込 み。成長見通しは低調だ が、エスワティニ、ザンビア、 ジンバブエの予測は持続 的な回復を示唆している。

西部アフリカ

2024年の成長率は推定4.5%だが、2025-2026年には4.3%に低下する可能性がある。ガーナ、ナイジェリア、シエラレオネ以外の国では、2025年に5%以上の成長が見込まれる。

…しかし、債務問題に対処するには不十分な経済成長

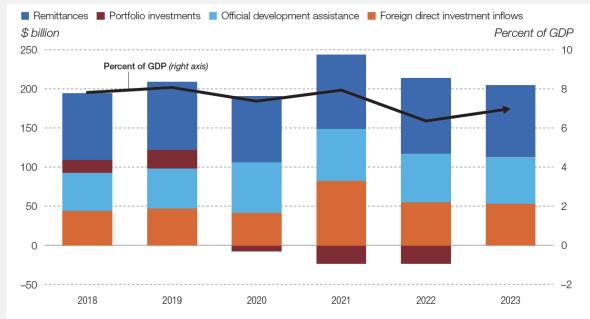
公的債務は安定したが、なおパンデミック前の水準を上回っている



最近の累積債務の要因

- 未曾有のショックによる不安定な公共財政
- パンデミックに見舞われた経済を支援し、食品とエネルギーの価格高騰による家計への影響を緩和するための政府行動
- 多くの国で、対外債務返済がパンデミック前の水準を上回った

アフリカへの対外資金フローは2023年に回復したが、援助削減の波と世界的な不確実性を背景に資金流入は短・中期的に減少する可能性



- 2023年の外国直接投資(FDI)、政府開発援助(ODA)、ポートフォリオ投資及び送金は2,040億米ドル、アフリカのGDPの約7%となった
- アフリカへのFDI流入は、世界全般や発展途上国の傾向を反映して2023年に一段と弱まり、前年比3.4%減の530億米ドルとなった
- 送金のみが0.2%の微増であった。



よくあるご質問



よくあるご質問

1) AfDBとADFの関係は?	64
2) AfDBの資本構造は?	65
3) 資本の払込請求の手続方法は?	66
4) 投資ガイドラインは?	67
5) AfDBの信用ポリシーは?	68
6) AfDBの貸出限度額は?	69
7) 融資の適格基準とは?	70
8) AfDBの融資承認プロセスとは?	71
9) AfDBの融資金利とは?	72
10) AfDBの出資方針とは?	73
11)出資の適格基準は?	74
12) 最大の想定エクスポージャーは?	75
13) 国別のソブリン及びノンソブリンポートフォリオの分布は?	76
14) エクスポージャーの交換アグリーメントとは?	77
15)優先的に弁済を受ける債権者としての地位(PCS: Preferred Creditor States)とは?	78
16) AfDBの不良債権とは?	79
17) 債務償却に関するポリシーとは?	80
18) 脆弱な状態とは?	81
19) アフリカにおける現場でのプレゼンスは?	82
20) AfDBの統合セーフガードシステムとは?	83
21) 倫理的な事業慣習とは?	84
22)採取産業透明性イニシアティブとは?	85

AfDBとADFの関係は?

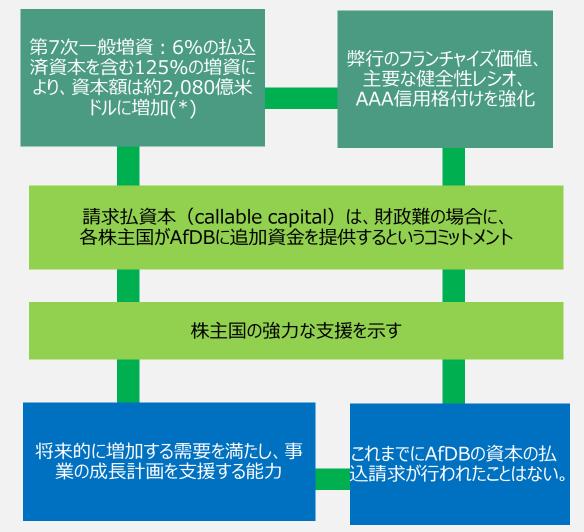
アフリカ開発銀行(AfDB)とアフリカ開発基金(ADF)はそれぞれAfDBグループの事業体で、 法的かつ財務的に独立しており、資産及び負債も区別されている。

アフリカ開発銀行(AfDB)は、資金を資本市場で調達し、格付を受け、 アフリカ地域の最も信用性の高い諸国及び有望なセクターのプロジェクトに融資を行う事業体である。

- アフリカ開発基金(ADF)は、主にドナーから拠出された資金でソフトローンの貸付けを行うアフリカ 開発銀行グループ内の部門である。アフリカの最貧国に対し譲許的融資や無償資金を提供している。
- AfDBはADFに出資しており、毎年、純利益からADFに拠出している。
 AfDB及びADFは互いのいかなる負債に関しても一切の償還請求の責務を負わない。
 両機関はそれぞれ独立した事業体であるため、両機関間でエクスポージャーの移動はできない。

AfDBの資本構造は?





(*) 第7次一般増資承認後の授権資本

資本の払込請求の手続方法は?

目的

• 請求払資本 (Callable Capital) は、拠出された資本の一部であり、借入金又は保証に関するAfDBの義務を果たすために必要な場合に限り、払込請求が可能。

メカニズム

- 支払は、加盟国により金、交換可能通貨又は払込請求の基となったAfDBの義務履行のために要求されている通貨で行われなければならない。
- AfDBは加盟国に対し、請求払資本の払込請求の際には、AfDBがニューヨークの連邦準備銀行又はその目的のために正式に指名された後継機関に設定した特別口座にかかる払込請求に応じて支払をするよう求める契約を締結している。
- かかる口座の条件では、払い込まれた資金は、まずシニアデットの発行に関連してAfDBが負っている債務残高の全ての返済 又は全額清算のための引当金に充当し、その他のいかなる返済にも優先すると規定されている。

独立義務

- 請求払資本の払込請求は、自己資本のすべての株式の比率に対して均等であることが要求されているが、かかる払込請求に対して支払を行う加盟国の義務は、それぞれ独立したものである。
- かかる払込請求に対する支払について1カ国又は複数の加盟国が不履行となった場合でも、その他の加盟国は支払義務から免れない。弊行の義務を果たすために必要であれば、債務不履行をしていない加盟国に対して追加の払込請求ができるが、いかなる加盟国も通常資本のうち払込がなされていない金額を上回る支払は要求されない。

注記:アフリカ開発銀行は、同機関が請求払資本を払込請求する際の法的枠組み、プロセス、ガバナンスを明確にした報告書を発表した。
https://www.afdb.org/sites/all/libraries/pdf.js/web/viewer.html?file=https%3A%2F%2Fwww.afdb.org%2Fsites%2Fdefault%2Ffiles%2Fdocuments%2Ffinan

cial-information%2Fanalysis of callable capital - april 12 2024-final formatted-3.pdf

投資ガイドラインは?

投資の種類	最低格付け	最大満期	流動性ヘア・カット率
国債/政府機関債/国際機関債	AAA/Aaa AA-/Aa3 A/A2	30 年 15 年 1 年	AAAは0% AA+からAA-は20% A+からA-は40%
銀行債及び金融機関債	AAA/Aaa AA-/Aa3 A/A2	10 年 5 年 6ヵ月	AAAからAは50% それより下位は100%
社債	AAA/Aaa AA-/Aa3 A/A2	10 年 5 年 6ヵ月	AAAからAは50% それより下位は100%
不動産担保証券(MBS)及び資産担保証 券(ABS)	AAA/Aaa	40 年	100%

AfDBの信用ポリシーは?

- → AfDBグループの信用ポリシーでは、以下2つの基準に基づいて、域内加盟国(RMC: Regional Member Country)のアフリカ開発銀行、アフリカ開発基金またはその両方への適格性を判断する。
 - 1人当たり国民所得が一定基準値以上
 - 非譲許的借入に相応しい信用
- 🔪 2025年6月時点で、
 - ソブリン融資の適格国は17カ国:アルジェリア、アンゴラ、ボツワナ、カーボベルデ、コンゴ共、エジプト、赤道ギニア、エスワティニ、ガボン、リビア、モーリシャス、モロッコ、ナミビア、ナイジェリア、セーシェル、南アフリカ、チュニジア。
 - ・ AfDB及びADF双方の融資を受けることが可能な「ブレンド国*」は6カ国:カメルーン、コートジボワール、ケニア、セネガル、タンザニア、ザンビア。
 - ・ 2014年の信用ポリシー改訂によるAfDBのソブリン融資を受けることが可能なADF適格国は3カ国:ベナン、ルワンダ、ウガンダ。
- ▶ 2014年、AfDBはADF適格国の経済開発需要に積極的に対応することを目的として、信用ポリシーに柔軟性をもたせる改訂を行った。この改訂により、このカテゴリーの国々に対し個別事案に応じて、AfDBの公的窓口から革新的プロジェクトに対する資金を提供することができる。AfDBのソブリン融資を受けるためには以下の基準を満たす必要がある。
 - (i) IMF/世銀の債務持続性評価(DSA: Debt Sustainability Analysis)が定義する債務困難性に係るリスクが、低程度から中程度の国として分類されていること
 - (ii) IMFのDSAが定める非譲許的借入を受ける余裕が当該国にあること
 - (iii) 当該国のマクロ経済が、特別リスク評価の基準に照らして持続可能な状態であること
 - (iv) 貸付要請が、域内加盟国のためのリスクアセスメントに基づき、行内の信用リスク委員会から承認を受けること
 - *ブレンド国とは、ある信用状態から別の状態への移行枠組みにある国。一人当たりの所得は未だ一定レベルを下回っているものの、 信用力があるとみなされる国がブレンド国として取り扱われる。

AfDBの貸出限度額は?

リスクからAfDBを守るという最も重要な目的のため、AfDBの事業には複数の制限が設けられている:

- ノンソブリンの事業はリスク総資本*の45%
- ・ 市場リスク及びオペレーショナル・リスクはリスク総資本の10%

制限	定義	比率		
カントリー制限 単一国に割り当てられる総資本額		AfDBのリスク資本の15%		
セクター制限 単一セクターに割り当てられる総資 本額		セクターに関わらず、民間セクターの事業に割り当てられるリスク資本の11.25% 金融サービスセクターは、民間セクターの事業に割り当てられるリスク資本の15.75%		
単一ネーム制限 単一カウンターパーティーに割り当て られる総資本額		民間セクターのリスク資本の2.7%		
資本参加制限	資本参加	リスク総資本の15%		

^{*}リスク資本は、払込済資本及び準備金と定義される。

融資の適格基準とは?

公共部門

適格性は以下の2つの柱に基づく。

- 1人当たりの国民総所得
- 信用度

2025年6月時点のソブリン貸付の適格国は、アルジェリア、アンゴラ、ベナン、ボッワナ、カーボベルデ、カメルーン、コンゴ共、コートジボワール、エジプト、赤道ギニア、エスワティニ、ガボン、ケニア、リビア、モーリシャス、モロッコ、ナミビア、ナイジェリア、ルワンダ、セネガル、セーシェル、南アフリカ、タンザニア、チュニジア、ウガンダ、ザンビアの26カ国。

適格国のリストは各国の状態に応じて定期的に見直され、適格国への追加または削除は理事会で決定する。

また、AfDBは国際的な大手格付機関が認めるソブリン格付けモデルに基づき、アフリカ地域の全加盟国の内部格付を毎年実施している。ソブリン格付は1年を通じてモニターされているが、各国のファンダメンタルズに変化がある場合には変更することがあり、その場合にはAfDBの信用リスク委員会の承認が必要である。

民間セクター

AfDBは、54カ国の域内加盟国の商業的に有望な民間セクターの事業にのみ貸付を実施している。商業的に存立する可能性やリスクは内部格付モデルに基づいて概算される(内部格付モデルは国際的な大手格付機関の支援の下、定期的に見直される)。格付けは毎年最低1回は見直され、積極的な改善策がタイムリーに実行されるよう継続的にモニタリングされる。

AfDBは内部格付が「5」を下回る(国際基準の「B-」に相当)のプロジェクトには貸付をせず、格付が「5」以上(数字上)の場合は次の条件を満たす必要がある。1)臨時理事会の承認、及び2)限度額はAfDBの資本金の10%までであることまた、AfDBは単一ネーム・エクスポージャー(リスク資産総額の6%)及びセクター・エクスポージャー(民間セクター事業に割当てられるリスクキャピタルの25~35%)を管理するため、限度額を設定している。

AfDBは、民間セクターの事業に関する事前追加性及び開発成果の評価 (ADOA)のための枠組みを使用している。設定された基準となる開発成果指標により、追跡、モニタリング及び事後評価が容易になる。

AfDBの融資承認プロセスとは?

AfDBには、関与する分野を決定する際に、10ヵ年戦略の一環として明確な中核的事業優先事項と分野横断的なテーマがある。 プロジェクトは、すべて同一の内部承認プロセスを経る。

- 1.プロジェクトコンセプトノートの作成 -プロジェクトコンセプトノート (PCN) とは、融資を受けるプロジェクトの主な特徴を簡潔かつ分析的に示すために作成される文書である。その主たる目的は、プロジェクトの査定及びデュー・デリジェンスを進めるか否かについて、管理職が詳細な情報を得た上で判断できるようにすることである。PCNの第一段階の審査を担うのは、査読者及びAfDBの幅広い関連部署から選りすぐられた専門家から構成されるプロジェクト査定チーム (PAT) のメンバーである。PCNは、最終的にカントリーチームによる審査及び検討を経る。カントリーチームは取引が計画性を持っているか、構造及び方向性がAfDBの戦略と開発優先事項に準拠しているかを判断し、プロジェクトが技術的に健全で商業化が可能かを明らかにする。PCNは(地域責任者が議長を務める)カントリーチームの認可後、最終的な認可を得るために(AfDBの副総裁・最高執行責任者が議長を務める)事業委員会に引き継がれる。ただし、1億UA以上の資金、風評リスク、非常に革新的な計画を含む場合など、特定の状況に対応した一部のプロジェクトのPCNは、(AfDBグループの最高リスク管理責任者が議長を務める)信用リスク委員会による事前の審査を受けなければならない。信用リスク委員会は、最終的な認可が行われる前に事業委員会に対して信用リスクガバナンス、信用評価及び格付け変更の承認に適用可能な勧告を行う。これに続き、事業委員会は、事業の技術的詳細を中心にプロジェクト草案を包括的に審査する。この段階で特に重要なのが格付けである。この段階でプロジェクトが認可された場合、PATは査定及びデュー・デリジェンスを行うためにプロジェクト査定ミッションに移り、その場でプロジェクトを評価する。同時に、AfDBのリスク管理部が独自のプロジェクト信用評価を行い、サマリー・クレジット・ノートを作成する。
- 2.プロジェクト査定段階 -デュー・デリジェンスの完了時にプロジェクト査定報告書が作成される。その後、カントリーチームと同等のプロジェクト査定チーム内で議論される。カントリーチーム内でのプロジェクト査定報告書の議論は、さらなる信用評価に関する勧告を行うために信用リスク委員会が行う審査の後に行われるものである。カントリーチームによる認可後、プロジェクトは事業委員会に送付され、承認を得るため理事会に提出される。
- 3.理事会の承認 最終承認は理事会の判断に委ねられる。理事会は、プロジェクト査定報告書及びリスク管理部が作成した独立した理事会信用覚書報告書に基づいて決定する。

承認 (及び融資実行)後も、AfDBのリスク管理部が定期的に全てのプロジェクトを評価及び査定を実施し、内部リスクの格付けも定期的に更新される。

AfDBの融資金利とは?

	完全フレキシブル ソブリン融資及びソブリン保証付融資	ノンソブリン融資
通貨	米ドル、ユーロ、日本円、南アフリカランド及びAfDBが貸付通貨として指定するその他の通貨	米ドル、ユーロ、日本円、南アフリカランド及びAfDBが貸付通貨として指定するその他の通貨
満期	最長25年(最長8年の猶予期間)	最長15年(最長5年の猶予期間)長期間に及ぶ満期も個別に検討可能
貸出利率	価格転嫁 基準金利(変動又は固定) + 資金調達コストマージン + 貸付スプレッド(80bps) + 期間プレミアム	基準金利+貸出金利のマージン
基準金利	固定: - 米ドルに対するデイリーSOFR複利後決め - ユーロに対する6か月EURIBOR - 南アフリカランドに対する3か月JIBAR - 日本円はデイリーTONA 複利後決め 借主は変動基準金利から固定基準金利への変更をリクエスト可 -現地通貨は、資金調達は融資と連続して行われ、コストは借主負担-	固定: -米ドルはデイリーSOFR複利後決め -ユーロに対する6か月EURIBOR -南アフリカランドに対する3カ月JIBAR -日本円はデイリーTONA 複利後決め 借主は変動基準金利から固定基準金利への変更をリクエスト可。 また、借主は期間SOFRをリクエストも可能であり、その場合、デイリーSOFRとの差を考慮するために ベーシス・スプレッドを適用 -現地通貨は、資金調達は融資と連続して行われ、コストは借主負担-
資金調達コストの マージン	AfDB の実際の平均資金調達コストがベンチマークを上回るか下回るか、次のセメスターに適用され、 半年毎に改訂	南アフリカランドは資金調達コストマージンが設定され、貸付実行時に適用
貸付金利のマージン	80bps	AfDBのノンソブリン金利枠組みに沿った個別プロジェクトの信用リスク格付けに基づく。マージンには信用リスクプレミアム(不履行確率及び不履行時損失率から算出)及び集中リスクプレミアムが含まれる。 SOFR および TONA の場合、追加の目標調達コストマージンが貸出マージンに追加
期間プレミアム	融資の平均満期に応じて(最長12.75年は0bps、12.75年以上15年未満の平均満期は 10bps、15年以上17年未満の平均満期は20bps)	
手数料	25bpsのコミットメント・フィー及び25bpsのフロント・エンド・フィー	-フロント・エンド・フィー 1% -アプレイザル・フィー 0~1% - コミットメント・フィー 0.5~1% - 遅延損害金 利息の2%
返済条件	猶予期間の満了後、元本の均等払い。その他の返済条件も検討可能	猶予期間の満了後、元本の均等払い。その他の返済条件も検討可能
オプショナリティ	借主は基準金利の固定、解除及び再固定が可能。基準金利に関してはキャップとカラーが利用可能 融資の実行部分及び未実行部分に関して通貨換算が可能	活固定基本基準金利をリクエスト可。 スタンドアローンのヘッジ商品も活用可

AfDBの出資方針とは?

AfDBは、開発効果の諸原則に準拠し、キャタリスト効果を最大化する適切な運用を選択するため、事前に定義された適格基準を適用する。

目的:

■ 出資の目的は、リターンに加え下記を促進することにある。(a) 生産的事業のローカルオーナーシップ、(b) 資源の有効利用、(c) 域内の経済協力及び経済統合、(d) 国家又はサブリージョナルな経済の多様化及び近代化の観点から、重要性が増しつつある経済セクターにおける起業リスク負担、(e) アフリカの中・大規模企業の競争力を強化する手段として、コーポレートガバナンス、経営管理及び企業責任におけるベストプラクティスの基準、(f) 社会経済インフラ、製造業、農業ビジネス、食料安全保障及び金融セクターの発展など、経済に極めて重要なセクターへの国内、域内及び海外からの直接投資の動員。

<u>適格性:</u>

- ノンソブリン事業は、AfDBの投資先として適格と考えられる域内加盟国で実施可能;
- 全ての経済セクター及びサブセクターはAfDBの投資先となりうるが、下記は除く:
 - アルコール飲料、タバコ及び高級品の生産
 - 武器、爆弾及びその他の軍事又は準軍事目的で使用される製品の生産又は取引
 - 原子炉とその関連商品、アスベスト繊維並びに有害物質の生産、取引又は使用
 - 国際条約(CITES)で規制されている野生生物及び野生生物製品の取引
 - プラチナ、真珠、貴石、金及びそれら関連製品の投機売買又は投資
 - 賭博、カジノ及び同種の企業
 - 管理されていない主な熱帯雨林における伐木機械の使用
 - 有害又は搾取的な強制労働及び/又は児童労働を伴う経済活動
 - 当該国の法令又は国際条約及び国際合意により違法とみなされる製品の生産もしくは取引又は活動

出資の適格基準は?

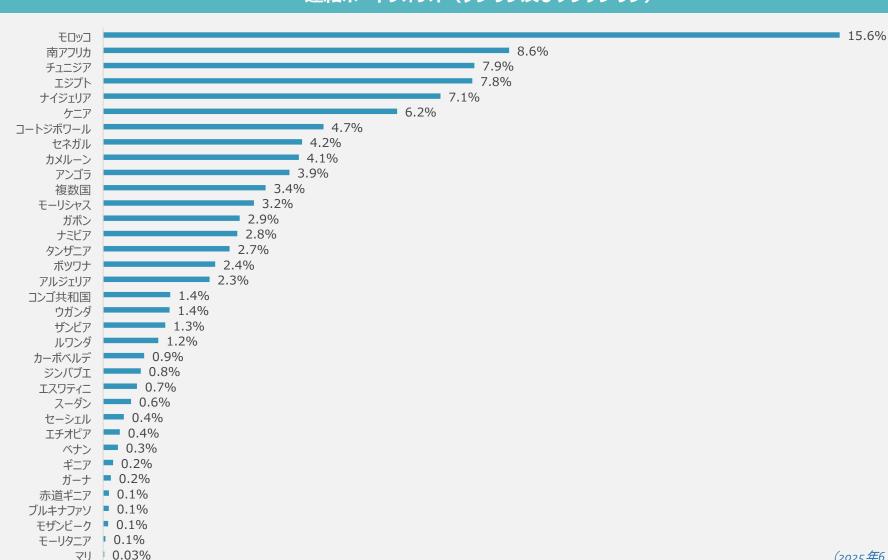
戦略上の適合性	ノンソブリン事業は、AfDB(10カ年戦略2013-2022と後継のHigh 5s「5つの優先分野」、ノンソブリン事業ポリシー、民間セクター開発戦略)、及 び域内加盟国(国別戦略報告書と地域統合戦略報告書)の戦略的方向性や優先順位に適合しなければならない。
信用度	潜在的投資先は、有能な経営陣及び良好なコーポレート・ガバナンスにより運営されなければならない。また当該投資先は、優良な環境及び社会的責任の実績又は証明力、有望なビジネスモデル並びに現実的な企業戦略を伴い、AfDB及び他の投資家への償還に十分な収益をあげる能力がなければならない。
商業的に存立する可能性	資本参加、配当金の支払及び/または内部留保の良好な見込みがあり、十分な経済的及び財務的投資収益率をあげられなければならない。
投資収益率	単一の投資に対する投資収益及びその株式ポートフォリオの評価において、AfDBは投資に関する財務的投資収益率(FRRI: Financial Rate of Return on Investment)、評価総額/払込出資金倍率(TVPI: Total Value to Paid-In)、分配金/払込出資金倍率(DPI: Distribution to Paid-In)といった一連のリターン指標を算定する。AfDBは、将来の投資毎に予想されるFRRI、TVPI、DPIを計算する。これらの指標は、投資額の回収に加え、同一の投資先にシニアローンを貸し出す際の利率に対して十分なプレミアムを示すものでなければならない。
出口戦略	達成可能な「出口戦略」が定められ、他の主要株主が合意する場合にのみ、出資を承認する。
開発成果	AfDBは最後の貸し手という立場で、顧客が借り手として合理的とみなされる条件でAfDB以外から融資を得られるとの見解である場合には、ノンソブリン 事業に融資を提供しない。
AfDBのアディショナリティ(追加性)	AfDBの役割が、民間セクターから提供される資金に対して「付加的(additive)」である場合にのみ、AfDBは取引に参加する。すなわち、参加により下記が提供される場合である:(a)政治的リスクの緩和、(b)融資期限の延長及び資本市場の発展促進を含む財政的追加性、並びに、(c)開発成果の向上。「付加性(additionality)」の評価に際しては、当該事業にAfDBの参加がなければ行われなかったであろう追加的な協調融資動員のてことなり、及び関連する経済セクターに対するその他の投資の呼び水となるというAfDBの役割に、特に焦点が当てられる。
投資規模	AfDBは投資先企業の経営権を取得することを目的としていないため、資本参加は投資期間を通して企業の総資本の25%までに制限される。
プライベート・エクイティ・ファンド	評価は下記の要素に基づき行われる:(a)財務の健全性及びファンドの過去の実績、(b)投資戦略及びリスク管理、(c)産業構造、(d)経営及びコーポレート・ガバナンス、並びに(e)情報の質。

05007 B 468 845-7 (1-157) (1-168655-7-)-

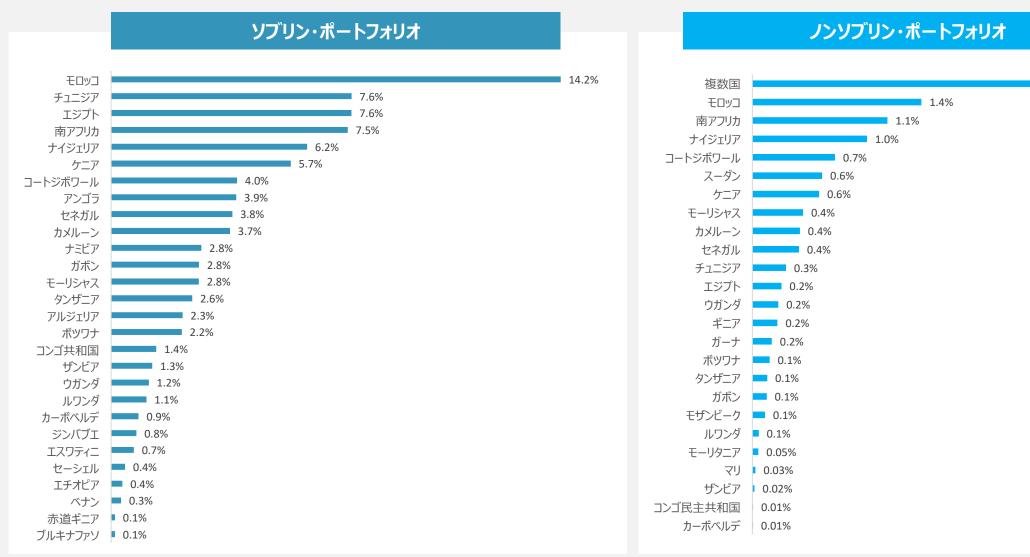
コンゴ民主共和国 0.01%

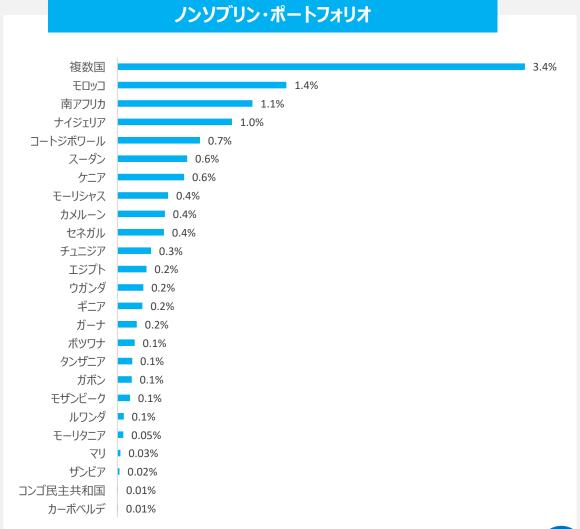
最大の想定エクスポージャーは?

連結ポートフォリオ(ソブリン及びノンソブリン)



国別のソブリン及び ノンソブリン・ポートフォリオの状況は?





(2025年6月30日時点)

エクフポージャーの交換アグリー

エクスポージャーの交換アグリーメントとは?

2015年、AfDBは、貸借対照表の最適化、ソブリン集中リスクの軽減、及び貸付枠の増加を実現するために融資ポートフォリオのリスク管理を目的に、他の国際開発金融機関(MDBs) -米州開発銀行(IADB)と国際復興開発銀行(IBRD) -とエクスポージャーの交換に関する契約(EEA1: Exposure Exchange Agreement)を初めて締結した。

2回目のEEA(EEA2)は2023年にアジア開発銀行(ADB)と締結し、3回目のEEA(EEA3)は2024年 10月に10億米ドルの参照ポートフォリオについてADBと締結した。

EEAは、各国に対して総エクスポージャーの最低50%を保有する各参加MDBとの間で、定義されたソブリン信用エクスポージャー(defined sovereign credit exposure)に関する同様の信用リスクを同時に交換する内容を含む。ソブリン融資を実行したMDBが引き続き契約上の貸し手となる。

EEAは全てAAA格付けを受けて いるIBRD、IADB、ADBとソブリン 集中リスクを軽減する目的で締結

EEAは融資能力及び自己資本 比率を大幅に改善

- 売主は、買主が参照ポートフォリオ内の全部又は一部の債権償却又は再編を行う場合、買主に対して元金 支払のみを要求する。交換されたエクスポージャーの金額はその時点で理論上等価であることから、プレミアムの 支払いはない。
- 経験上、MDBsへの滞納金は最終的には必ず清算されるため、MDBsが滞納金を償却することはほとんどない。
- 2025年6月時点で、EEA1、EEA2、EEA3の下で行われた、いかなるエクスポージャーについてデフォルトは発生しておらず、AfDBは引き続きそのソブリン融資及び保証に係るエクスポージャーの全額の回収を見込んでいる。

EEA1 取引		
規模	45億米ドル	
満期	最長15年(11年目に償却)	
参照ポート フォリオ	RMCs9カ国のソブリンAfDBエクスポージャー	

EEA2 取引		
規模	10億米ドル	
満期	最長15年(11年目に償却)	
参照ポート フォリオ	RMCs7カ国のソブリンAfDBエクスポージャー	

EEA3 取引		
規模	10億米ドル	
満期	最長15年(11年目に償却)	
参照ポート フォリオ	RMCs6カ国のソブリンAfDBエクスポージャー	

優先的に弁済を受ける債権者としての地位 (PCS: Preferred Creditor States)とは?

- → 公共セクターのエクスポージャーにおいて、優先的に弁済を受ける債権者としての地位(PCS)とは、ソブリン・デフォルトが発生した場合、一般的に他の債権者に優先して返済がなされることを意味する。 つまり、PCSでは、デフォルト発生時に、AfDBは他の債権者よりも返済が優先されることとなる。格付機関は、国際開発金融機関(MDBs)の評価に当たり、この特徴を考慮に入れている。
- ➤ 民間セクターのエクスポージャーでは、PCS には別のメリットがある。政府(ソブリン)によって外貨へのアクセスが制限される場合、格付機関は MDBsに対する返済には当該制限は適用されないものとみなす。このことにより、送金及び換算リスクが軽減される。例えば、ある国の債務がデフォルト又はデフォルト寸前の場合、民間セクターは外貨へのアクセスを制限されることがあるが、AfDBへの返済に関してはこの制限は適用されない。

AfDBの不良債権とは?

2025年6月時点の不良債権 (NPLs: Non-Performing Loans) の比率は2.3%

2025年6月時点のソブリンNPLs(単位: 百万米ドル)

玉	未払元本	減損引当金	減損率
ジンバブエ	269	116	43%
AfDB ソブリン融資*	30,293		
ソブリンNPL比率	0.9%		

^{*}保証を除く

不良資産/資産 引当金の繰入傾向 (百万米ドル) (開発のための融資等残高) 922 **IBRD** 804 629 624 **IADB** 416 364 **AfDB EBRD** 0% 1% 2% 3% 4% 5% 6% 7% **■** 2022 **■** 2023 **■** 2024 2023 2024 2025年6月 出所: Moody's Investors Service ■元本 ■累積引当金

2025年6月時点のノンソブリンNPLs (単位: 百万米ドル)

セクター	未払元本	減損引当金	減損率
電力	153.0	26.0	17%
電力	70.3	70.3	100%
輸送	64.9	32.4	50%
輸送	58.1	58.1	100%
輸送	55.5	55.5	100%
電力	44.3	23.0	52%
IND/MINI/QUAR	31.8	9.9	31%
輸送	11.1	2.7	24%
輸送	9.1	9.1	100%
農業	8.1	1.6	20%
電力	7.3	7.3	100%
農業	5.0	1.1	23%
農業	4.6	1.1	23%
電力	2.6	1.3	52%
農業	2.3	0.5	23%
農業	2.0	0.5	23%
農業	0.7	0.1	20%
輸送	0.1	0.06	100%
合計	531	301	57%

ノンソブリン NPLs	5億3,100万米ドル
AfDBノンソブリン融資*	40億6,200万米ドル
ノンソブリンNPL比率	13.1%

*保証を除く

債務償却に関するポリシーとは?

AfDBはこれまで、ソブリン保証付融資を債務償却したことはない。国家のデフォルトは、内乱や非常事態が発生した場合に行われたことがある。平和と安定が回復すると国家はAfDBとの関係を再開し、滞納金を返済するか、または通常は滞納金の清算のためにドナーから援助を受けることになる。

AfDBのポリシーでは、元本、利息または他の手数料の支払が30日延滞した場合、すべての滞納金が清算されるまで、当該加盟国又は当該国の公共部門に対する新たな融資について、理事会の承認を得るための手続きを行わず、既に承認されている融資も実行しない。さらに、このような国については、すべての滞納金が清算されるまで、当該加盟国に対するすべての融資または当該加盟国が保証するすべての融資の実行が停止される。このような国については、未実行のローンにかかる0.5%のコミットメントフィーの免除も適用されない。

AfDBは優先的に弁済を受ける債権者としての地位(PCS)のメリットを享受し、かつ、ソブリン債務者の不良債権エクスポージャーを厳しくモニターしているものの、これまでにいくつかの国はAfDBに対する適時の債務返済に困難をきたしたことがある。前述のとおり、AfDBはポートフォリオにおける損失の評価を踏まえ、ソブリン融資ポートフォリオに係る減損に対する引当を行う。

ノンソブリン融資では債務償却が発生する可能性があり、これについてはAfDBの営業純利益 (NOI: Net Operating Income) によって支弁される。現在に至るまで、ノンソブリン融資の大規模な債務償却は実施されていない。

国際財務報告基準 (IFRS) に則り、AfDBは通常債権であるノンソブリン・ポートフォリオに関しては、損失見込みをカバーするために一般引当を行うことはない。不良債権ポートフォリオに関しては、AfDBは個々の融資に関する信用減損または発生した損失の評価に基づき、特定貸倒引当金を繰り入れる。

ルーシェンシップ to neat 44 チージ バーブサンド 64 数別変化された。

脆弱な状態とは?

2014年戦略

脆弱性とは「制度崩壊、社会崩壊また は暴力的紛争のリスクが高まっている状態」を指す。

脆弱性の最新の定義

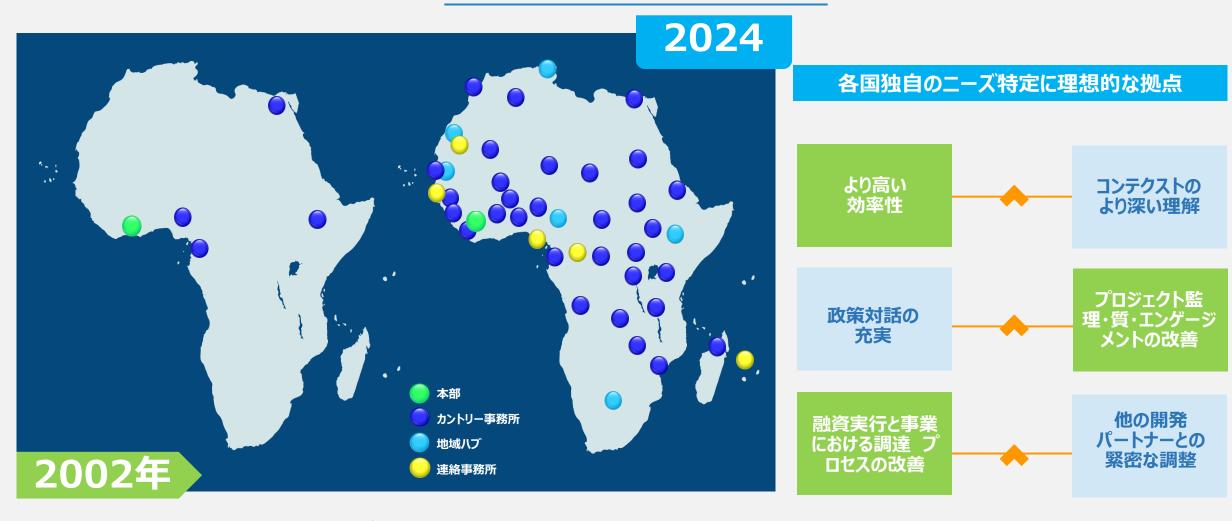
脆弱性とは「内部または外部からの圧力が、それに対する既存の防止・対応・回復能力を超えるリスクがある状態」を指す。

レジリエンスの定義

レジリエンスとは「国がショックやストレスに対処・適応してそこから回復し、将来の脆弱性を軽減できる特性」と定義される。

• 外部金融へのアクセス • 人々の周縁化 • 正義と安全への信頼 • 根強い社会経済的不平等 • インフラへのアクセス向上 • 暴力の増加 • 汚職と貧弱なガバナンス • 民間主導の雇用創出の兆し • 経済・財政運営の失敗 • 政府歳入は増加するも、汚職が課題 ・ 開発の優先事項に関するコンセンサスの欠如 ・ 状況は概ね安定するも、地方レベルでは 暴力や脆弱性が一部に存続 • 和平合意後の紛争終結状況にお • 深刻な不安定さ、暴力的紛争や政治的 ける復興段階 行き詰まり ・ 広く受け入れられている紛争解決 • 近隣地域への避難を余儀なくされた人々 地域機関や国際機関との関係の • 正当な政府の不在 正常化 • 武装解除は進むも、安全保障 • 有効な行政の崩壊 上の問題は残存 ・ 国際金融機関や ・ 機関による散発的な 国際社会からの制裁 サービス提供

アフリカにおける現場でのプレゼンスは?



41か国に確固たるプレゼンス。脆弱国にも拡大。

- ➤ AfDB職員の39%がフィールドオフィスに勤務
- ▶ プロジェクトの76%をフィールドオフィスから管理

AfDBの統合セーフガードシステムとは?

統合セーフガードシステム(ISS)は、資金源にかかわらず、AfDBが管理する信託基金の支援を受ける事業を含む、公債及びノンソブリン債などAfDBが支援する 全ての事業に、ライフサイクル全体(特定、準備、査定、交渉、実行、中間レビュー、完了)を通じて適用されるAfDBグループの環境・社会的方針である。

この事業方針とオペレーショナル・セーフガード(OS)は、タイプや資金源にかかわらず、アフリカ開発銀行グループが支援する全ての事業に適用される。

AfDBは事業を通じて、AfDBの規約に適合し、AfDBが許容できる方法及び期間内にOSの要件を満たすと見込まれる事業のみを支援する。

提案された事業による環境又は社会的影響に適切な対応ができない可能性があるとAfDBが判断した場合は、そのような事業を進めない判断をする可能性がある。

これには、単独事業として提供されるか、又は事業やプロジェクトの一部として提供されるかにかかわらず、AfDBのあらゆる技術支援活動が含まれる。

AfDBは、支援対象として提案された全ての事業に関して、環境・社会デュー・デリジェンスを実施する。

環境・社会デュー・デリジェンスの目的は、提案された事業の支援を行うかどうか、行う場合は、環境・社会リスク及び影響を事業の開発・査定・実行においてどのように考慮するかに関して、AfDBの決定を助けることである。

AfDBは、アフリカ開発銀行の「情報開示及びアクセスに関する方針」をこの方針に記載されている守秘義務に従って、借主が共有する全ての文書に適用する。

統合セーフガード追跡システム(ISTS)はAfDBのプロジェクト管理システムにリンクしており、プロジェクトのコンプライアンスと実績を直接追跡するために使用される。ISTSは、OSsの要件が適切に満たされた場合に、プロジェクトが準備段階から査定段階へのみに進むことができることを確認するために使用される。このステップは、AfDBのE&Sセーフガードとコンプライアンス部門が検証する。

また、ISTSは、関連するOSの要件が適切に満たされた場合、 プロジェクト文書が理事会にのみ提出できることを確認するため に使用される。当該プロジェクト文書の査定報告書には、 AfDBのE&Sセーフガードとコンプライアンス部門が発行する環 境・社会コンプライアンスノート(ESCON)が添付されている。

アフリカ開発銀行グループ統合セーフガードシステム文書

https://www.afdb.org/en/documents/african-development-bank-groups-integrated-safeguards-system-2023

ISSとは、ソブリン及びノンソブリンの全ての事業にライフサイクル全体を通じて適用される環境・社会的事業方針である

倫理的な事業慣習とは?

- 他の国際開発金融機関(MDBs)と共に**2006年に採択した「不正・汚職の防止及び撲滅に関する統一枠組み(Uniform Framework for Preventing and Combating Fraud and Corruption)」**。これは国際開発金融機関が融資するプロジェクトの開発効果を上げるために汚職と不正を抑制するための協調戦略である。
- グッド・ガバナンス、倫理的な商慣行の推進、並びにAfDBの事業に適用される汚職防止及び透明性に関する国際基準の承認へのコミットメント。
- 組織の株主に対する受託者責任及び法的責任に基づき、経済、効率性及び競争的取引を考慮して、ソブリン保証を得ずに融資された民間セクターの事業及びその他の事業に関してインテグリティ・デュー・デリジェンス(IDD)を策定。

インテグリティ・デュー・デリジェンス(IDD)に関する指針原則

受益所有者の特定:

受益所有者の身元が確認できるまで取引を行わない

民事、刑事及び規制上のバック グラウンドの評価:

インテグリティ・リスク*に関連してカウンターパーティー及び重要な関連 当事者の刑事、民事及び規制上 の背景を厳密に評価する

制裁措置を受けた個人及び事業体:

カウンターパーティー、重要な関連当事者又はその受益者のいずれかがAfDBグループによって排除もしくは相互排除されているプロジェクト、または国連安全保障理事会によって制裁を受けているプロジェクトには融資しない

重要な公的地位を有する者(PEP:Politically Exposed Persons)及
びその他の高いリスクを伴う関係:
プロジェクトにPEPが関与する場合、標準
的なIDD措置に加え、より厳格なIDDを
実施すること

インテグリティ・リスクの緩和:

IDDプロセスの基本的な目的は、インテグリティ・リスクの特定及び緩和

インテグリティ・リスクの監視及び 特別条項の執行:

インテグリティ・リスクの早期警戒の兆 候及び同リスクを示す事象を特定する ため、プロジェクトサイクルを通して効果 的に監視

記録管理:

IDDプロセスに関連する全ての文書 及びとられた措置に関する適切かつ信 頼性のある記録の保存

* インテグリティ・リスクとは、プロジェクト及び投資判断における非倫理的行為に起因する悪評を含む財務上及び非財務上の損失が生じる可能性。

採取産業透明性イニシアティブとは?

採取産業透明性イニシアティブ(EITI: Extractive Industries Transparency Initiative)は、採取産業において透明性の強化によりガバナンスを促進することを目的とする。石油、ガス、金属及び鉱物などの天然資源は国民の所有物であり、これらの資源の採取は経済成長及び社会発展につながる可能性がある。しかしながら、その不十分な管理のため汚職や紛争を頻繁に招いてきた。国民全てが資源の恩恵を受けるためには、国による天然資源の管理法の開示性向上が求められる。

各国がEITI基準を実施することにより、石油・ガス及び鉱業会社から政府に支払われた租税その他の支払の開示が確保される。これらの支払がEITI年次報告書で開示されることで、国民は自国政府の天然資源収入額を知ることができる。

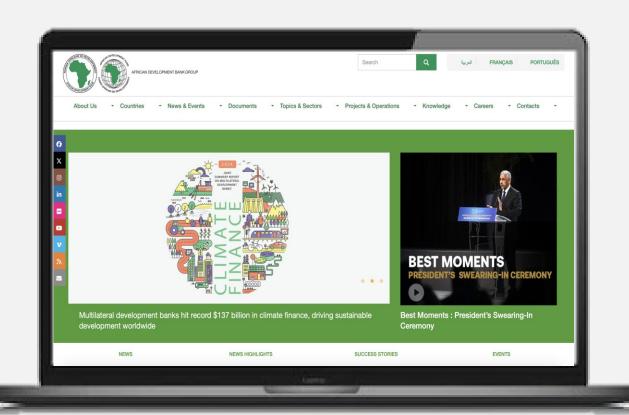
EITIは様々なステークホルダーに多くのメリットをもたらす。EITI実施国にもたらされるメリットとして、政府が透明性の向上に尽力しているという明確なメッセージを投資家や国際金融機関に示すことで投資環境が改善することが挙げられる。EITIはまた、説明責任及びグッド・ガバナンスの強化と政治・経済の安定性向上に資する。これは石油、鉱物及びガスセクターをめぐる紛争の防止にも貢献しうる。

企業及び投資家にもたらされるメリットは、政治的リスクと評判に関するリスクの緩和が中心となる。不透明なガバナンスによる政治不安は、 投資にとって明らかな脅威である。採取産業は投資が資本集約的でかつ収益化するには長期的安定が不可欠なため、かかる政治不安を 軽減することは事業にとって有益である。政府への支払に関する透明性はまた、投資が国家に貢献していることの実証にも資する。

市民社会にとってのメリットは、政府が国民を代表して管理する歳入に関して公開情報量が増えることにより、政府の説明責任が向上することである。

AfDBはセクター事業にEITI原則を組み込む取り組みを行っている。域内加盟国にEITIプロセスへの参加を促し、適用可能な国に技術的・財政的援助を行うことで、採取産業における慣行の健全化と持続可能な開発のための天然資源の活用とを支援している。現在までに、中央アフリカ共和国、リベリア及びマダガスカルの3カ国がEITI候補国になることに尽力し、このイニシアティブの順守及び実行に関してリベリア、シエラレオネ、チャド、トーゴ、ギニア及びマダガスカルなど様々なアフリカ諸国を支援している。

アフリカ開発銀行グループに関する詳細情報



財務・事業分析 債務プログラム資料

格付機関レポート

借入国・事業者向け金融商品

年次報告書

FundingDesk@afdb.org





AFDB <GO>







免責事項

この資料は、アフリカ開発銀行(以下、「弊行」)が、情報提供目的で作成したものです。この資料に示された意見は、作成時の弊行の判断を反映したものであり、何らの通知なく変更されることがあります。また、弊行は、いかなる者に対してもこの資料に示された意見・情報が変更される際に通知する義務を負いません。

弊行は、この資料に含まれる情報の正確性、完全性に関しても、明示または黙示のいかなる表明、保証、確約を行うものではありません。この資料は、弊行の有価証券の販売または勧誘を目的としたものではありません。個々の投資家の特定の投資目的、財務状況、ニーズを考慮に入れたものではありません。この資料で言及されている投資額、評価額は変動することがあります。過去の実績は将来の成果を導くものではなく、また、将来のリターンは保証されているものではありません。本資料を利用することにより生じたまたは被ったと主張する、いかなる損失、損害、債務または費用等(無制限の直接、間接、特殊なまたは重大な損害を含む)に対して、たとえ弊行がその可能性を通知されていたとしても、弊行は一切責任を負いません。

この資料をご覧になる皆様は、この資料の権利が弊行に帰属することを承認されたものとみなします。この資料の全てのコンテンツ(図、アイコン、資料の全体の概観及び内容を含みますが、これに限るものではありません)は弊行に帰属します。弊行は著作権、商標およびその他の知的財産権を含むいかなる権利も放棄いたしません。